



令和 5 年度 事業のあらまし

一般社団法人首都圏産業活性化協会
TAMA協会 Technology Advanced Metropolitan Area



令和5年度「事業のあらまし」発刊にあたり

一般社団法人首都圏産業活性化協会
会 長 野長瀬 裕二

令和5年度は新型コロナも収束し、国内景気は社会経済活動の正常化やインバウンド需要の回復が見られるとともに、高水準の賃上げや企業の高い投資意欲を反映し、緩やかに回復基調にある一方で、年初に発生した能登半島地震の復旧や、海外では長引くロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、中東情勢の緊迫化や中国の景気減速、さらにはエネルギー価格高騰や為替の問題等、今後の景気に影響を及ぼす懸念材料が山積しております。しかし私たちは、これからのわが国はもとより、地球および世界の将来を見据え、首都圏地域を世界有数の新規産業創造基盤として確立させ、世界経済の健全な発展に寄与することを目指し、イノベーション創出を進めなければなりません。

さて、令和5年度は、第六期3か年計画(2021～2023年度)の最終年度として、「脱平均！ワンラックアップ」をビジョンに掲げ、製品開発力の強化、市場の拡大、新規創業環境の整備を促進すべく、産学官金民のネットワーク形成を基本に、圏央道との結節点(関越・中央・東名道)における地域振興と、新たな分野におけるイノベーション創出に向けて取り組みました。特に、2つの重点分野(デジタルとカーボンニュートラル)に、力を注いで活動して参りました。

また、「自治体地域産業政策勉強会」の定期開催や、新たに「大学人連携会議(準備会)」を立ち上げるなど、地域連携推進活動における基盤づくりも行いました。

今年は、任意団体設立から数えて26年目となります。支えて下さった多くの皆様のご支援とご尽力の賜物と、深く感謝申し上げます。

これからも、「楽しく、明るく、プロフェッショナルに」をモットーに、

「地域企業を最もよく知る」×「地域自治体を最もよく知る」×「地域大学を最もよく知る」

を“OUR CORE”と定め、地域に根差した産学官連携のプロフェッショナル集団としての自覚を忘れず、ビジネス機会創造に力を注いで参ります。

今後とも、より一層のお力添えを、どうかよろしくお願い申し上げます。

令和6年吉日

一般社団法人首都圏産業活性化協会
会 長 野長瀬 裕二

目次

1	■ 沿革
2	■ 第六期中期計画（2021年～2023年）
3	■ イノベーション創出に向けた支援
3	Ⅰ イノベーション創出に向けた取り組み
4	Ⅱ マッチングの基盤となるツール
6	Ⅲ 研究会・会員ネットワーキング
13	Ⅳ マッチング商談会・展示会
17	■ 個別ニーズに基づく企業支援 イノベーションプロデューサーによる活動支援実証事業
20	■ 個別ニーズに基づく企業支援 地域DX促進事業
22	■ 個社支援事例
	Ⅰ 狭山市中小企業経営支援相談業務
23	■ 研究開発支援事業（競争的資金獲得支援）
	Ⅰ 2023年度 競争的研究資金事業・提案への支援状況
27	■ 海外展開
27	Ⅰ 台湾視察（台湾におけるカーボンニュートラルの取り組み最新動向の把握）
28	Ⅱ TAMA地域の視察
28	Ⅲ 連携協定の締結
29	■ 技術経営大学
29	Ⅰ 概要
29	Ⅱ 2023年入社対象者の為の内定者フォロー研修（オンライン開催）
30	Ⅲ 合同新人研修
31	■ 情報ネットワーク
31	Ⅰ 会報「つなぐWa TAMA経済NEWS」
32	Ⅱ ホームページによる情報提供
32	Ⅲ 情報別メーリングリストの運用による効果的な情報提供
33	■ TAMAコーディネーター制度
34	■ 地域連携推進
34	Ⅰ 自治体等との連携
35	Ⅱ 自治体地域産業政策勉強会
36	Ⅲ 国内支援機関等との交流
37	■ データでみる会員の推移と現状
39	■ 年表

第一期 1998年（平成10年）～2002年（平成14年）

ネットワーク形成

インフラの整備を通じた産学官金ネットワークの構築

1998年（平成10年）設立

4月 関東経済産業局の協力を得て、地域の企業、大学、自治体、商工団体により、任意団体「TAMA産業活性化協議会」が設立。当初の事務所は、八王子商工会議所の一角を借用してのスタートであった。

2000年（平成12年）事務所移転

事務所を三鷹産業プラザへ移転。

2001年（平成13年）社団法人化、事務所移転

4月 TAMA産業活性化協議会解散。経済産業省の許可を受け、社団法人首都圏産業活性化協会を設立。事務所を八王子スクエアビルへ移転。

2002年（平成14年）

コーディネーター制度やネットワークによるプラットフォームを構築



第二期 2003年（平成15年）～2007年（平成19年）

研究開発・新事業創出

産学・産産連携の促進と連携による新技術・新製品の開発新事業の創出

2003年（平成15年）ベンチャー基金設立

2004年・2005年（平成16年・17年）海外クラスターとの交流開始

2006年（平成18年）次世代経営者育成・若者ネットワークを構築

2007年（平成19年）大手企業と中小企業の技術連携交流会開始

第三期 2008年（平成20年）～2012年（平成24年）

環境ものづくり

環境と調和し環境と共生する「ものづくりクラスター」として世界ブランド化をめざす

2008年（平成20年）設立10周年、環境ものづくり支援事業・

産学官金サミット開始

2009年（平成21年）環境ものづくり大賞創設・海外展開支援の強化

2010年（平成22年）一般社団法人化、首都圏西部地域広域基本計画策定

1都2県35市4町1村による広域協議会を設置し、地域での産業集積活性化を支援。

2011年（平成23年）地域イノベーション戦略推進地域に選定

「首都圏西部SQOL（smart Quality of Life）技術開発地域」として選定される。



第四期 2013年（平成25年）～2017年（平成29年）

TAMAエコクラスター 環境配慮ものづくりエコクラスター（環境調和・ビジネス調和）の実現をめざす

2013年（平成25年）TAMAブランド化推進事業、TAMAブランド企業認定開始

2015年（平成27年）人材確保・定着事業強化、中核企業創出支援事業の推進

2017年（平成29年）先端ものづくり・IoT普及による中核企業創出支援

第五期 2018年（平成30年）～2020年（令和2年）

コネクテッド・インダストリーズ

産学官金で、ひと・もの・ことのつながりを推進しビジネス機会と人財が集まる場を形成する

2018年（平成30年）設立20周年、異業種交流会（つなぐWaセッション）開始

知的財産人材育成支援事業開始、自治体政策勉強会の開始

2019年（平成31・令和元年）技術経営大学（合同新入社員研修、専門講座）の開始

（独）中小企業基盤整備機構、（地独）神奈川県立産業技術総合研究所との連携協定を締結

2020年（令和2年）次世代トップリーダー育成講座の開始、金融機関勉強会の開始

第六期 2021年（令和3年）～2023年（令和5年）

脱平均！ワンランクアップ

3つのエリア（圏央道と交差する関越・中央・東名道）と新たな分野の切り口により、イノベーションの創出をはかる

2021年（令和3年）北関東産官学研究会（HiKaLo）と連携協定を締結

2022年（令和4年）株式会社さがみはら産業創造センター（SIC）との連携協定を締結

2023年（令和5年）台日産業技術合作促進会（TJCIT）との連携協定を締結

第六期中期計画（2021年度～2023年度）

脱平均！ワンランクアップ

第六期（2021年～2023年）は、「脱平均！ワンランクアップ」というビジョンを掲げ、協会の目的である“製品開発力の強化”“市場の拡大”“新規創業環境の整備”を促進しました。

産学官金民のネットワーク形成を基本スタンスとし、3つのエリア（圏央道と交差する関越・中央・東名道）と新たな分野の切り口により、イノベーションの創出を図りました。



イノベーション創出に向けた支援

I イノベーション創出に向けた取組み

地域の中堅・中小企業の製品開発力の強化と市場の拡大並びに新規創業環境の整備を図ることを目的として、当協会では下記図のように3つのLayerに分け、ゆるやかな交流から個別支援の頻度を高め、イノベーションの創出に向けた取組みを行いました。

Layer 3 : 創造

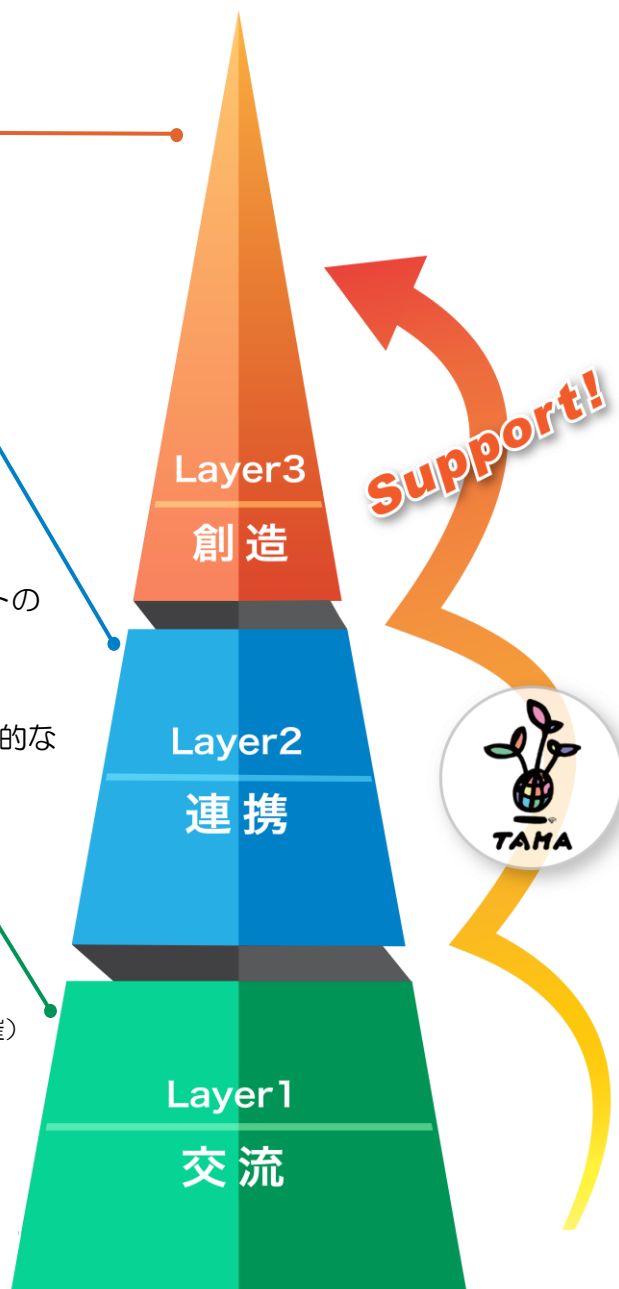
- 共同研究開発プロジェクトのハンズオン支援
- 知的&標準化戦略の支援
- 新技術・新製品・新サービスの創出支援

Layer 2 : 連携

- 会員企業の戦略策定に基づくマッチング支援
- 会員企業の個別課題についての解決提案
- 企業の製品・技術PRレポート、大学研究室レポートの作成・情報発信
- 産学官連携の支援、競争的資金の獲得支援
- 連携機関や協力機関のネットワークを活用した広域的なマッチング支援

Layer 1 : 交流

- つなぐWaSession（毎月第4金曜日に開催）
- 技術連携交流会（埼玉・東京・神奈川にて各年1回以上開催）
- はむらイブニングサロン（年6回開催）
※羽村市主催／当協会にて運営
- 大学や支援機関との共催イベントを随時開催
- 会員が主催するイベントへの後援



研究会・会員ネットワーキング

会員のみなさま同士が交流するネットワークの場です。是非ご参加ください。



カーボンニュートラル
研究会



DX促進事業



- ・新都心イブニングサロン
- ・はむらイブニングサロン
- ・技術連携交流会
（埼玉・東京・神奈川で開催）



Session

- ・つなぐWa Session
- ・自社に眠る財産の
掘り起こしセッション
- ・マーケティング講座

Ⅱ マッチングの基盤となるツール

(1) 「ワザ自慢・製品技術PRレポート」

例年に引き続き、協会会員の皆様同士の連携促進を目的として、会員の皆様を1冊でご紹介した「つなぐWa2024新春特別号」を令和6年1月に発行しました。



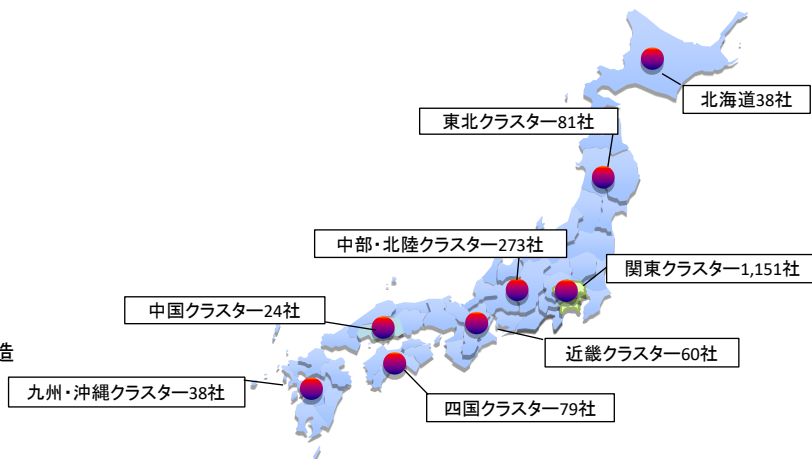
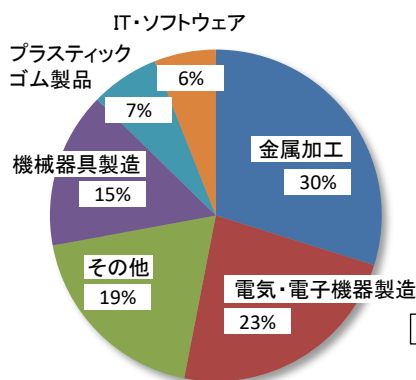
● PRレポート掲載社数 : 会員企業190社

ご協賛頂いた皆様、心より御礼申し上げます。

株式会社industria	株式会社イノウエ	東京都中小企業振興公社
第一合成株式会社	東京たま未来メッセ	日新技研株式会社
株式会社ミラック光学	株式会社ユニテックス	株式会社リガルジョイント
株式会社アドテックス	株式会社イチカワ	かながわ経済新聞合同会社
京西テクノス株式会社	株式会社ケネック	株式会社サーテック
武州工業株式会社	株式会社レスカ	アイオワ州経済開発機構
カネパッケージ株式会社	久保井塗装株式会社	株式会社コスモ計器
西武信用金庫	株式会社ソーケンメディカル	弁護士法人高瀬総合法律事務所
株式会社立飛ホールディングス	多摩信用金庫	中小企業基盤整備機構関東本部
DATAビジネス株式会社	東京都中小企業投資育成株式会社	日本分析工業株式会社
株式会社西野精器製作所	株式会社バンガードシステムズ	株式会社ベストパートナーズ
税理士法人りんく	アイフォーコム株式会社	青梅信用金庫
株式会社	株式会社商工組合中央金庫	株式会社東京IT経営センター
さがみはら産業創造センター	八王子支店	
野村證券株式会社立川支店	飯能信用金庫	

なお、平成19年（2007年）度から作成している全国中小企業の技術シーズは、累計1,744社に達しており、産産連携・産学連携のマッチング活動の基盤となっております。

● 累計掲載社数：1,744社



(2) 中小機構「J-GoodTech（ジェグテック）」との連携

当協会は、中小企業の販路拡大、その他中小企業に役立つ情報交換などを目的として、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構という）と連携協定を締結しております（令和元年6月～）。その一環として、中小機構が運営するビジネスマッチングプラットフォーム「J-Good Tech」にて、会員企業がより多くの製品開発や新規取引に向けたマッチング機会に触れられるようサポートしております。（J-GoodTechページ：<https://jgoodtech.smrj.go.jp>）

ジェグテック
J-GoodTech

【令和5年度会員企業の活用状況】

登録企業数： 151社
法人情報閲覧数： 15,666件

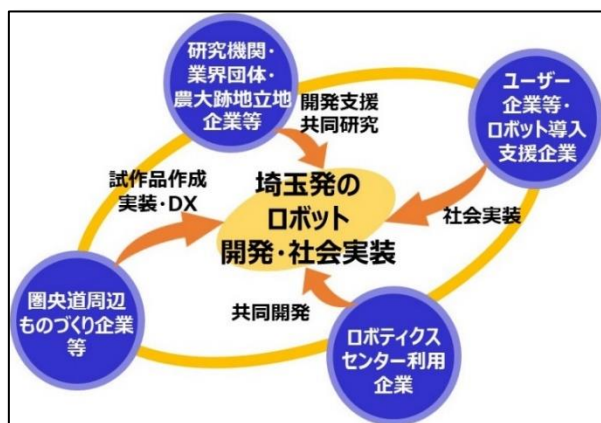
問い合わせ受信件数： 760件
ニーズ提案数： 98件

(3) 埼玉県「ロボット関連技術PRカード」(埼玉県より受託)

埼玉県は、圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺に市場規模拡大が見込まれる「社会的課題解決に資するロボット」開発を支援する「SAITAMA ロボティクスセンター(仮称)」の整備を進めております。センター開業後を見据え、オープンイノベーションによるロボット開発を実践するために必要となるロボット開発関連企業の掘り起こしや技術等の把握及びロボット開発における実証実験環境の最新ニーズの把握を目的として、当協会が「ロボット関連技術PRカード」の作成を行いました。

● 作成企業数： 626社

活用イメージ



SAITAMAロボティクスセンター(仮称)整備予定地



Topic

ワザ自慢／大学技術工房 は キーワード検索できます

ワザ自慢／大学技術工房は当協会ホームページより、電子版をご覧ください。
キーワード検索による企業や技術の探索も可能ですので、是非ご利用ください。

<https://www.tamaweb.or.jp/report>



技術研究レポート



- ① ワザ自慢 製品技術PRレポート
- ② キーワード検索

約1,700の製品技術PRレポートから、キーワード検索ができます。



- ③ 大学技術工房 研究シリーズレポート
- ④ キーワード検索

約600の研究シリーズレポートから、キーワード検索ができます。

- ① ワザ自慢 製品技術PRレポートを各号ごとに紹介しています。
- ② 約1,700社のワザ自慢 製品技術PRレポートがデータベース化されており、キーワードによる検索ができます。

- ③ 大学技術工房 研究シリーズレポートを各号ごとに紹介しています。
- ④ 約600の大学技術工房 研究シリーズレポートがデータベース化されており、キーワードによる検索ができます。

Ⅲ 研究会・会員ネットワーキング

（１）令和5年度 通常総会

会員が一堂に集まり、令和4年度の事業報告および令和5年度の事業計画等について議案の決議を行うと共に、新たに入会頂いた会員のご紹介など、会員同士での情報共有や意見交換などを通じた「交流の場」として開催しました。

また同時開催企画として、会員交流会「つなぐWa Session 特別編」を開催しました。ここでは、経済誌 Forbes JAPAN が進める、グローバルでありながら地域に根差した“小さくても偉大”な存在を発掘するプロジェクト「SMALL GIANTS AWARD」に焦点を当て、Forbes JAPAN 藤吉編集長と歴代受賞された会員企業3社によるパネルディスカッションを行いました。

開催日時： 令和5年6月23日（金） 14:00 ～ 18:00

会 場： 八王子市学園都市センター 12階イベントホール ※オンライン（Zoom）併用
（東京都八王子市旭町9-1）

【内 容】

<第1部> 議案についての進行、新入会会員のご紹介

<第2部> 会員交流会「つなぐWa Session特別編」

「Forbes JAPAN 藤吉雅春編集長が

スモールジャイアンツアワード歴代受賞企業と語るここだけトーク」

ファシリテーター： Forbes JAPAN 編集長 藤吉 雅春 様

パネラー： 株式会社industria 代表取締役社長 高橋 一彰 様
株式会社協同商事 代表取締役社長 朝霧 重治 様
株式会社オータマ 代表取締役社長 奥村 哲也 様



(2) 令和5年度 新春講演会・新春会員交流会

新春を迎えるにあたり、会員の皆様が一堂に会して交流を深める「新春講演会・新春会員交流会」を開催しました。プレゼンターにはお馴染みの、愛知淑徳大学の真田幸光教授をお招きし、激動する世界経済の中で日本企業が取るべき戦略についてお話頂きました。



【開催概要】

開催日時： 令和6年1月12日（金）16:00 ～ 20:00

会 場： 八王子エルシー ※オンライン（Zoom）併用
（東京都八王子市八日町6-7）

【内 容】

主催者挨拶 一般社団法人首都圏産業活性化協会 会長 野長瀬 裕二

来賓ご挨拶 経済産業省 関東経済産業局長 太田 雄彦 様

八王子市長 石森 孝志 様

相模原市長 本村 賢太郎 様

新春講演会 愛知淑徳大学 ビジネス学部研究科 真田 幸光 教授

「2024年の国際環境と経済の情勢

～激動の世界経済における日本企業の取るべき戦略～」

新入会員のご紹介

首都圏産業活性化協会からのお知らせ



(3) つなぐWa Session

会員が定期的集まることで仲間を増やし相互研鑽できるような場となり、協会活動への積極的な参加や期待を高めることを目的として、基本的に毎月1回（主に第4金曜日16:00～）定期的に開催しました。

企業経営や地域経済、時事問題等に関するテーマを設定し、企業、大学関係者、支援機関、行政関係者、コーディネーター等にスピーチして頂き、参加者同士での情報共有や意見交換などを通じた「交流の場」として開催しました。

後援：株式会社さがみはら産業創造センター、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所、特定非営利活動法人北関東産官学研究会

開催回	開催日	テーマ	プレゼンター	参加数
第39回	令和5年 4月23日 (金)	「ものづくり&デジタル化」 ～新メンバーとのリアルな交流を～	1) (一社)首都圏産業活性化協会 ものづくりビジネスプロデューサー 松尾 徳人 「これまでの歩みと展望」 2) (一社)首都圏産業活性化協会 デジタルビジネスプロデューサー 小川 直樹 「これまでの歩みと展望」	22人
第40回	令和5年 7月28日 (金)	「補助事業、助成事業の戦略的活用」 ～Go-Tech事業の公募要領を例にポイントを解説～	1) 経済産業省 関東経済産業局 産業部 製造産業課 課長補佐 小坂 由樹 様 「補助事業、助成事業の戦略的活用」	20人
第41回	令和5年 8月25日 (金)	「身近に迫っているサイバー攻撃から自社を守る」 ～サイバー攻撃の現状とその対策事例から学ぶ～	1) 警視庁 八王子警察署警備課 警備課長 柿並 招平 様 「サイバー攻撃の現状と対策」 2) (一社)首都圏産業活性化協会 デジタルビジネスプロデューサー 小川 直樹 「攻めと守りのサイバーセキュリティ対策」	16人
第42回	令和5年 9月22日 (金)	「ゲストと考える未来の経営！」	1) (独)日本貿易振興機構 海外展開支援部 中堅中小企業課 課長 小林 寛 様 「JETROのスポット支援・1万者支援について」 2) (公財)神奈川産業振興センター 取引振興課 課長/中小企業診断士 玉石 岳 様 「神奈川県中小企業支援センターの取組について」 3) (一社)首都圏産業活性化協会 プロジェクトリーダー 佐藤 隆洋 「首都圏ものづくりDXコミュニティ事業について」 4) (株)industria 代表取締役社長 高橋 一彰 様 「首都圏ものづくりDXコミュニティ事業 ハンズオン支援事例のご紹介」 5) アイフォーコムホールディングス(株) R&Dセンター センター長 小嶋 隆則 様 「首都圏ものづくりDXコミュニティ事業 ITベンダーのご紹介」	28人
第43回	令和5年 10月20日 (金)	東京都立大学新棟開設特別企画 「産学公連携・大学発スタートアップの取組紹介」	1) 東京都立大学 研究推進課 産学公連携センター 産学公連携担当課長 上席URA 諏訪 桃子 様 「都立大日野キャンパス・新棟ならびに 事業のご紹介」 2) 久保井塗装(株) 代表取締役 窪井 要 様 東京都立大学 システムデザイン学部 機械システム工学科 特任教授 諸貴 信行 様 「カーボンニュートラル・産業廃棄物ゼロ を目指すエコ塗料技術」 3) (株)塩 営業部長 駒澤 心 様 「マイクロ&ウルトラファインバブルで 機械加工現場の課題を解決」	31人

開催回	開催日	テーマ	プレゼンター	参加数
第44回	令和5年 11月22日 (水)	「中小企業の稼ぐ力の向上」	1) 経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課長 室住 敬寛 様 「経済産業省支援策等について」 ～デフレ完全脱却のための総合経済対策～ 2) (独)中小企業基盤整備機構 関東本部 アドバイザー 浮穴 俊康 様 「中小機構の支援メニュー及び 成長型中小企業等研究開発支援事業申請への 中小機構の支援のご紹介」	30人
第45回	令和5年 12月15日 (金)	「デジタルソリューションで ここまで変わる！付加価値向 上！」	1) (株)エキサイター 代表取締役 山下 慎太郎 様 「NOと言わない物づくり集団」 2) DATAビジネス(株) マーケティング企画室 須見 登志美 様 「解決の鍵はデータです」 3) (株)バルキー・インフォ・テック ソリューション 執行役員 西田 幸作 様 「AI業界と異常検知における最新動向について」 4) (株)イチカワ 代表取締役副社長 市川 敦士 様 「デジタルソリューションimmCloud今後の展望」 5) (株)バンガードシステムズ 専務執行役員 高木 英一 様 「BLEによる工程管理システム&サービス」	30人
第46回	令和6年 2月16日 (金)	「人材戦略立案セミナー」 ～人材について有益な情報提 供します～	1) 明晴グループ 新日本学院 学校長 中島 崇 様 「人材不足解消の一助として」 ～外国人材発掘・育成・定着から地域社会貢献へ～ 2) (株)アドヴァンテージ 代表取締役 中野 尚範 様 「採用におけるプロ人材の徹底活用！」 3) 東京工科大学 工学部教授 戸井 朗人 様、天野 直紀 様 「東京工科大学におけるコーオペ教育と リスキリングの取組について」 4) (株)ニコン日総プライム 取締役 兼 執行役員 営業部長 水谷 洋司 様 「高い技能を持ったニコンの人材貴社の元へ！」	28人
第47回	令和6年 2月29日 (木)	「令和6年度成長型中小企業 等研究開発支援事業(Go- Tech事業) 公募説明会、申 請書、経営デザインシートの 作成のポイント」	1) 関東経済産業局 産業部 製造産業課 課長補佐 小坂 由樹 様 「令和6年度成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業) 公募説明」 2) (独)中小企業基盤整備機構 関東本部 アドバイザー 浮穴 俊康 様 「令和6年度成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業) 申請書作成のポイント」 3) (一社)首都圏産業活性化協会 事務局長 芳賀 啓一 「経営デザインシート作成のポイント」 4) (公財)東京都中小企業振興公社 開発プロセスアドバイザー 木下 欣也 様 「東京都の試作&相談施設のご案内：オープン イノベーションフィールド多摩・国分寺館」	36人





(4) つなぐWa Session Global

本会は2020新春「つなぐWa Session特別企画」にご登壇された3団体（ITEC・AIBS・NAP）が意気投合し、クローズドな意見交換会からスタートし、これまで9団体13名のコアメンバーで運営しておりました。本年度からは「海外ビジネス展開」「海外人材の採用・育成」に関心の高い企業の方にもご参加頂けるオープンイベントとして開催しました。



開催回	開催日	テーマ	プレゼンター	参加数
第1回	令和5年 9月11日（月）	「会員と海外人材支援機関による情報交換会」	1) コアメンバーのみなさまより情報共有 ほか 2) 新会員のご紹介 3) 海外展開支援メニューのご紹介	9人
第2回	令和5年 10月23日（月）	「海外ビジネス展開・海外人材活用に関する情報交換会」	1) (株)industria 人材マネジメント室 室長 堀 誠一 様 「新卒採用・グローバル人材の採用は企業を変える」 2) (一財)海外産業人材育成協会 企業連携部 山内 文夫 様 「AOTSの人材育成事業およびR5年度重点事業のご紹介」 3) コアメンバーからの情報共有	25人
第3回	令和5年 12月21日（木）	「海外ビジネス展開・海外人材の採用、育成」	1) (株)セキコーポレーション 代表取締役社長 山木 孝之 様 「ものづくり企業3代目社長が実践する『海外人材の育て方』」 2) (独)日本貿易振興機構 海外展開支援部 主幹 高塚 一 様 「新規輸出1万者支援プログラムについて」 3) コアメンバーからの情報共有	18人
第4回	令和6年 2月26日（月）	「海外で売れるモノ・サービスとは？」	1) (株)ピンポイント・マーケティング・ジャパン 代表 大澤 裕 様 「海外で売れるモノ・サービスとは？」 2) (独)日本貿易振興機構 海外展開支援部 主幹 高塚 一 様 「中堅・中小企業の海外展開をサポートする『新輸出大国コンソーシアム』」 3) コアメンバーからの情報共有	53人

(5) はむらイブニングサロン（羽村市より受託）

技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンを行うことによって、意欲的な企業家達とのマッチングを目指した異業種交流会「はむらイブニングサロン」を実施しました。
各回さまざまなテーマのもと活発な意見交換を通して、地域を超えた連携が数々生まれました。

主 催： 羽村市

企画運営： 一般社団法人首都圏産業活性化協会

企業と大学と地域のネットワーク異業種交流会

はむらイブニングサロン

開催回	開催日	テーマ	プレゼンター	参加数
第35回	令和5年 5月26日 (金)	「競合他社との差別化」 ～新技術への挑戦～	1) 多摩冶金(株) 取締役副社長 山田 真輔 様 「熱処理技術から未来への挑戦」 2) (株)海野技研 代表取締役社長 海野 鉄郎 様 「顧客思考で進める他社との差別化」 3) 弁護士法人高瀬総合法律事務所 高瀬 芳明 様 「技術契約のポイント」	31人
第36回	令和5年 7月13日 (木)	「売れる自社製品の開発 に挑む！」	1) (有)エニシング 代表取締役社長 西村 和弘 様 「産地を守れ！小売業から製造業への転身」 2) 東成エレクトロビーム(株) 代表取締役社長 上野 邦香 様 「加工業からメーカーへの挑戦」	40人
第37回	令和5年 9月7日 (木)	「DX時代のサイバーセ キュリティ対策」 ～サイバーセキュリティ に関する協定書に基づく サイバーセキュリティセ ミナー～	1) 警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 「サイバーセキュリティセミナー」 2) (一社)首都圏産業活性化協会 地域DX促進事業 プロジェクトリーダー 小川 直樹 「攻めと守りのサイバーセキュリティ対策」	32人
第38回	令和5年 12月12日 (火)	「組織のDXリテラシーを 引き上げる」	1) TISS 代表 荒井 渉 様 「デジタル化における取組事例のご紹介」 2) (株)オングガンツ 「DX人材をめざすために」	28人
第39回	令和6年 2月28日 (水)	「女性経営者が語る夢へ の挑戦」	1) コーダ電子(株) 代表取締役 土屋 さおり 様 「無から夢への創造を目指して」 2) (株)ミューテック35 代表取締役 谷口 栄美子 様 「チャレンジを続けて頼れる加工屋へ」	42人
第40回	令和6年 3月26日 (火)	「マーケティング理論の 自分ごと化」 ～Jackyと考察する事業 戦略～	1) Jacky 柴田 正幸 様 「マーケティング理論の自分ごと化」	22人



(6) 中小企業支援セミナー（日本コンベンションサービス株式会社より受託）

新たな多摩地域の産業交流拠点である「東京たま未来メッセ」が主催となり、中小事業者の経営諸課題に焦点を当てた「中小企業支援セミナー」にて、当協会は「人材育成・技術継承」「DX推進」をテーマとしたトークセッションの企画・運営を行いました。

主 催： 東京たま未来メッセ

（企画運営（一社）首都圏産業活性化協会）

開 催 日： 令和6年3月19日（火）

プレゼンター： コダマコーポレーション(株)

代表取締役社長 小玉 博幸 様

「CAD/CAMは経営のツール」～人材の早期育成、技術承継～

武州工業(株)

相談役 林 英夫 様

「製造業におけるDXの取組み」～カーボンニュートラルに向けて～



(7) Jacky柴田のマーケティング道場（羽村市より受託）

社会経済の変革が著しい中での事業継続を支援するため、マーケティングの基礎を学ぶマーケティングセミナーを開催しました。今年度は意思決定の3要素「たい・べき・できる」と「マーケティング」を紐づけたテーマについて全3回シリーズでお話し頂きました。

主 催： 羽村市

企画運営： 一般社団法人首都圏産業活性化協会



開催回	開催日	テーマ	内 容	参加数
Day1	令和6年 2月15日 (木)	「べき」と「顧客ベネフィット」	企業が事業推進を行う上で、無視できない社会動向や尊重すべき顧客・市場動向を中心に、時代変化の3構造やそれぞれの特徴、自然環境・社会・文化などから影響を受けている「無意識的行動」など、企業にとって理解・対処すべき外部環境と事業を進めていくうえで最も大切な「顧客ベネフィット」を結び付けて考察しました。	16人
Day2	令和6年 2月29日 (木)	「できる」と「企業競争力」	事業競争を行なう上で武器となる技術について、中堅中小企業や個人事務所が大手企業と競争を行なう上で必要となるランチェスター戦略（強者と弱者の戦略）やマーケットの成長傾向（PLC 曲線）などを用いながら、いかにして厳しい競争環境の中で生き抜くか、について考察しました。	21人
Day3	令和6年 3月12日 (火)	「たい」と「アスピレーション」	Want という個人的欲求を否定せず、できるだけ多くの人の喜びに貢献したい願望「Aspiration」を顧客にダイレクトに伝え、顧客の頭の中・心の中に自社の技術・製品の居場所を確保するために必要な戦略について、具体例を混ぜながら考察しました。	25人

IV マッチング商談会・展示会

(1) TAMA技術連携&オープンイノベーション交流会@かながわ

日本産業の活性化に取り組む（一社）首都圏産業活性化協会、企業のロボット関連産業への参入支援を行う神奈川県「さがみロボット産業特区」、神奈川県内の産業界に精通している（地独）神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）及び（公財）神奈川産業振興センター（KIP）が連携し、企業の課題と技術をつなぐ「技術連携交流会」を開催しました。



【開催概要】

- ・開催日時： 令和5年11月15日（水）10:30～17:30
- ・会 場： 神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）海老名本部
（神奈川県海老名市下今泉705-1）
- ・テ ー マ： ロボット×次世代技術
- ・内 容： 第1部 「パネルディスカッション」
 - ・東京電力ホールディングス株式会社
経営技術戦略研究所 技術開発部
エネルギーソリューションエリア 川原 慶喜 様
 - ・株式会社マクニカ 新事業本部
ロボット事業推進室長 金澤 友和 様
 - ・TIS株式会社 ビジネスイノベーションユニット
シニアマネージャー 中西 崇 様
 - ・株式会社菊池製作所 製品販売部長 木下 聡 様

第2部 「技術マッチング商談会」

参画企業数： 17社

面談数： 13面談

第3部 「名刺交換会・懇親会」

- ・共 催： （地独）神奈川県立産業技術総合研究所、神奈川県、神奈川R&D推進協議会、
（公財）神奈川産業振興センター、（一社）首都圏産業活性化協会
- ・協 力： 相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、愛川町、平塚商工会議所、藤沢商工会議所、茅ヶ崎商工会議所、厚木商工会議所、大和商工会議所、伊勢原市商工会、海老名商工会議所、座間市商工会、綾瀬市商工会、寒川町商工会、愛甲商工会、相模原商工会議所、城山商工会、津久井商工会、相模湖商工会、藤野商工会、横浜銀行、きらぼし銀行、湘南信用金庫、平塚信用金庫

(2) TAMA技術連携交流会@八王子 ー交流そして連携、創造に向けてー

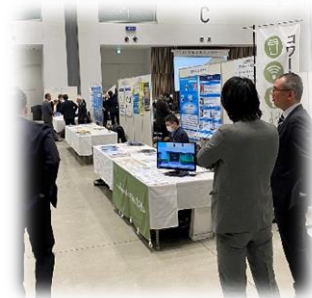
(中小企業庁 令和5年度 中小企業のイノベーション創出を支援する「イノベーション・プロデューサー」による活動支援実証事業)

会員のみなさまの交流の場として、展示会「TAMA技術連携交流会@八王子」を開催しました。協会初の試みとなりましたが、出展各社の製品・サービスを囲みながら活発な意見・情報交換がなされました。

また『中小企業庁 令和5年度 中小企業のイノベーション創出を支援する「イノベーション・プロデューサー」による活動支援実証事業』にて、フードバイオ・アグリビジネスに関する特設展示会・セミナーを開催しました。

【開催概要】

- ・開催日時： 令和6年1月12日（金）11:00～15:00
- ・会場： 東京たま未来メッセ 展示ホールC・D
(東京都八王子市明神町3-19-2)
- ・主催： (一社)首都圏産業活性化協会
- ・来賓挨拶： 関東経済産業局 地域経済部長 五十嵐 悟 様
東京都産業労働局 商工部長 山崎 太郎 様
公益財団法人東京都中小企業振興公社 専務理事 矢田部 裕文 様
西武信用金庫 理事長 高橋 一朗 様
東京農工大学 学長特任補佐 古田 裕志 様
- ・出展者： 43社



【併設セミナー】

- [11:00～11:30] 開会式
- [11:45～12:15] 中小企業庁・令和5年度「中小企業のイノベーション創出を支援するイノベーション・プロデューサーによる活動支援実証事業」
(一社)首都圏産業活性化協会 理事・事務局長 芳賀 啓一
- [12:15～13:00] 「産学連携研究所が取り組むフード・バイオ・アグリビジネス」
(株)産学連携研究所 代表取締役 隅田 剣生 様
- [13:00～13:30] 「食とエネルギーの西東京国際イノベーション共創拠点のご紹介」
東京農工大学 特任教授 若松 弘起 様
「地域連携昆虫飼料生産事業のご紹介」
東京農工大学 農学研究院 特任助教 坂本 卓磨 様
- [13:30～14:00] 「SAITECのフードテック研究会および竹のバイオリファイナリー技術による食品、環境資材への利用」
東京電機大学 理工学部 理工学科
生命科学系特定教授 椎葉 究 様
- [14:00～14:30] 「人材確保に関する情報提供」 事務局より

(3) 展示会での協会PRおよびマッチング

協会ネットワークの拡大や会員PR・マッチングを目的として、各地の展示会へ出展しました。

【開催概要】

① 新技術創出交流会2023

主 催： (公財)東京都中小企業振興公社
開 催 日： 令和5年10月25日(水)～26日(木)
会 場： 東京たま未来メッセ
(東京都八王子市明神町3-19-2)



② テクニカルショウヨコハマ2024

主 催： (公財)神奈川産業振興センター、(一社)横浜市工業会連合会、神奈川県、横浜市
開 催 日： 令和6年2月7日(水)～9日(金)
会 場： パシフィコ横浜 展示ホールA・B・C(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)
来場者数： 11,198人



③ スマートファクトリーJapan2024

主 催： 日刊工業新聞社
開 催 日： 令和6年2月20日(火)～22日(水)
会 場： 東京ビッグサイト 西ホール
(東京都江東区有明3-11-1)
来場者数： 20,436人

※会場内に「TAMA協会ゾーン」を設置し、会員企業12社と共に出展を行いました。

出展企業：(株)industria、(株)イノフィス、(株)エキサイター、コダマコーポレーション(株)、
(株)システム技研、(株)テクニカ、日本システム開発(株)、(株)バイオネット研究所、
(株)八洋、(株)バルキー・インフォ・テック、(株)ユニテックス、(株)リガルジョイント

④ たま工業交流展

主 催： たま工業交流展実行委員会
(構成：立川市、昭島市、武蔵村山市、羽村市、(地独)東京都立産業技術研究センター、(公財)東京都中小企業振興公社多摩支社、青梅商工会議所、立川商工会議所、東京都商工会連合会、昭島市商工会、武蔵村山市商工会、福生市商工会、瑞穂町商工会、日野市商工会、あきる野商工会、羽村市商工会、日の出町商工会、清瀬商工会、多摩信用金庫、青梅信用金庫、西武信用金庫)
開 催 日： 令和6年2月21日(水)～22日(木)
会 場： 東京都立多摩職業能力開発センター
(東京都昭島市東町3-6-33)



(4) 埼玉県PRカードを活用したマッチング商談会 (埼玉県より受託)



埼玉県は、圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺に市場規模拡大が見込まれる「社会的課題解決に資するロボット」開発を支援する「SAITAMA ロボティクスセンター（仮称）」の整備を進めております。センター開業後を見据え、オープンイノベーションの促進を目的としたマッチング商談会を開催しました。当協会は本マッチング商談会にて、企画運営および面談のフォロー業務を実施しました。

【開催概要】

- ・開催日時： 令和5年12月22日（金）13:00～17:00
- ・会場： 新都心ビジネス交流プラザ 4F会議室
(埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2)
- ・主催： 埼玉県次世代産業拠点整備担当（運営(一社)首都圏産業活性化協会）
- ・参画企業数： 26社 ・面談数： 38面談

(5) 中小企業 新ものづくり・新サービス展 (日本コンベンションサービス株式会社より受託)



全国中小企業団体中央会が主催となり、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（通称：ものづくり補助金）の成果と成長型中小企業等研究開発支援事業（通称Go-Tech事業）の成果を発表する「中小企業 新ものづくり・新サービス展」が開催されました。

当協会は本展示会にて、出展企業・来場者・バイヤー企業の相談対応及び提案業務を実施しました。

【開催概要】

- ・開催日時： 令和5年12月6日（水）～9日（金）
- ・会場： 東京ビッグサイト 西1・2ホール（東京都江東区有明3-11-1）
- ・主催： 全国中小企業団体中央会
- ・出展企業数： 570社 ・来場者数： 12,137人

(6) たま未来・産業フェア (日本コンベンションサービス株式会社より受託)

「たま未来・産業フェア」は、多摩地域内外から多くの企業と人を呼び込み、製品展示や地域の皆様との交流を通じて、新たな連携とイノベーションの創出を促すことを目的とした展示会イベントです。

当協会は展示会での商談やビジネスチャンス創出のために、相談窓口を設け出展者・来場者の相談対応を行いました。



【開催概要】

- ・開催日時： 令和6年1月26日（金）、27日（土）
- ・会場： 東京たま未来メッセ（東京都八王子市明神町3-19-2）
- ・主催： 多摩イノベーションエコシステム実行委員会
(構成：東京都、東京都商工会議所連合会、東京都商工会連合会、(一社)首都圏産業活性化協会、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター)
- ・出展企業数： 155小間 ・来場者数： 7,717人

個別ニーズに基づく企業支援 イノベーション・プロデューサーによる活動支援実証事業

I 事業概要

中小企業の稼ぐ力を強化し、成長につなげるという観点で、イノベーションは大幅な成長をもたらす有力な手段の一つです。イノベーションを創出し、新製品・新サービスを生み出すためには、自社の強みの認識・言語化を行うとともに、既存事業の関係先以外のニーズを探索し、得られたニーズと自社の強みの間を往復しながら新製品・新サービスの構想・具体化を行い、差別化戦略を構築する機能が必要であり、こうした機能を補完又は中小企業に代わって提供する支援策が求められています。

当協会は、イノベーション創出を目指す成長志向型の中小企業を対象として、こうした機能を補完又は中小企業に代わって提供し、新製品・新サービスを創出することを目的として、中小企業庁「令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業（中小企業のイノベーション創出を支援する『イノベーション・プロデューサー（以下、IPという）』による活動支援実証事業）」の採択を受け、実証事業を実施しました。

II 実施事業

本事業では、事務局長（芳賀啓一）をはじめとする3人のIPチームを組成し、それぞれの経験と実績を踏まえ、「活動領域の拡大」と「活動の担い手拡大」の両面から3つの実証事業を実施しました。

（1）活動の担い手拡大（MURAMATSUメソッド）

横河計測(株)特別技術顧問の村松康彦氏を講師に招聘し、企業支援のために体系化したイノベーション・プロデュース活動のメソッドである「MURAMATSUメソッド」を用い、特定分野で競争力のある商品＆サービスのグローバル展開を目指す中小企業を支援するIP担い手育成の座学研修を4回実施し、現地でのOJT支援を実施しました。



講師： 村松 康彦 氏

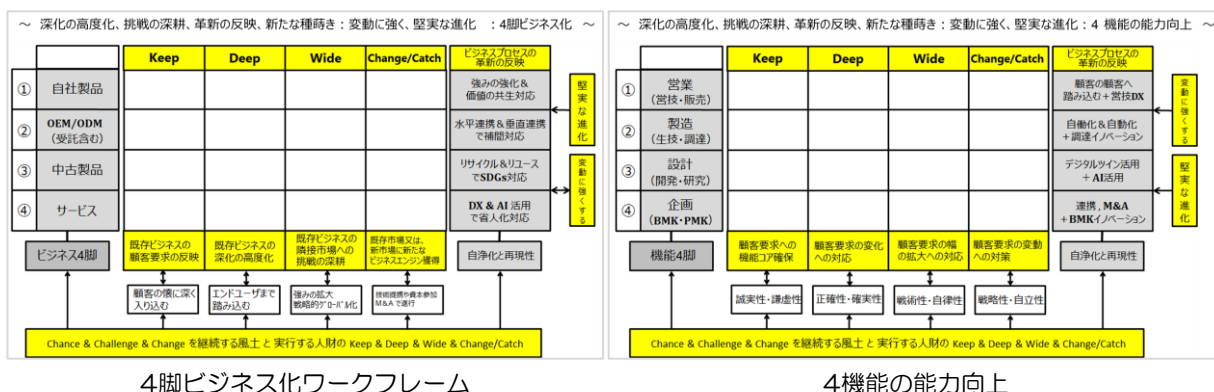
横河計測株式会社特別技術顧問、株式会社industria非常勤取締役、株式会社三共製作所顧問、日本トムソン株式会社アドバイザー等現職

プロダクト・イノベーションを目指すためには、第1フェーズとして大企業の生産受注型で世界に通用する品質を確保する訓練を、売り上げと利益を出しながら行い、しかる後に第2フェーズとして「自社商品に挑戦」することを推奨。

【MURAMATSUメソッド】

・4脚ビジネス化

取組むビジネスを「自社製品」「OEM」「中古品」「サービス」に分け、自社製品だったら何をKeepし、何を深化させるのか、何を広くするのか、何を変えていくのか、についてをちゃんと考えるためのワークフレーム。



(2) 活動の領域拡大 (SUMITAモデル)

イノベーション・プロデューサー（芳賀啓一）が、これまで公的機関および（一社）首都圏産業活性化協会において、中小企業のイノベーション創出支援を行なった経験を踏まえ、関西・西日本でアップサイクルビジネスの構築・成長支援の実績を持つ(株)産学連携研究所と連携して、首都圏・東日本における地産地消型サーキュラエコノミーのニーズ探索とアップサイクルモデル（SUMITAモデル）の普及、他企業の素材で業務の切り分けを行いました。

【技術連携交流会@八王子】

日 時： 令和6年1月13日（土）

会 場： 東京たま未来メッセ 展示ホール（東京都八王子市明神町3-19-2）

出展企業： (株)EFFECT DESIGN、大坪GSI(株)、カネパッケージ(株)、Curelabo(株)、(株)協同商事、埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)、(株)産学連携研究所、東京電機大学、(地独)東京都立産業技術研究センター、東京農工大学

※会員交流ゾーンに隣接して「フードサプライチェーン・アップサイクルゾーン」を設置

セミナー： 「中小企業庁・令和5年度「中小企業のイノベーション創出を支援するイノベーション・プロデューサーによる活動支援実証事業」について」

(一社)首都圏産業活性化協会 理事・事務局長 芳賀 啓一

「産学連携研究所が取り組むフード・バイオ・アグリビジネス」

(株)産学連携研究所 代表取締役 隅田 剣生 様

「食とエネルギーの西東京国際イノベーション共創拠点のご紹介」

東京農工大学 特任教授 若松 弘起 様

「地域連携昆虫飼料生産事業のご紹介」

東京農工大学 農学研究員 特任助教 坂本 卓磨 様

「SAITECのフードテック研究会および竹のバイオリファイナリー技術による食品、環境資材への利用」

東京電機大学 理工学部 理工学科 生命科学系特定教授 椎葉 究 様

【現地視察】

日 時： 令和6年2月13日（火）、14日（水）

参加企業： (株)エーディーバンク（山形県山形市）、大坪GSI(株)（福岡県柳川市）、(株)ニュートン（東京都千代田区）



現地視察風景

協力/ゆがふ製糖(株)（沖縄県うるま市）
サトウキビから原料糖を製造する工程

協力/Curelabo(株)（沖縄県うるま市）

食品残渣を粉碎・乾燥し、布地の原料を製造する工程の一部
※写真右上は直営店、右下は委託販売先の店頭にて

(3) 担い手拡大・領域拡大（OKAMURAメソッド）

イノベーション・プロデュース活動の「領域拡大」と「担い手拡大(育成)」実証事業として、「イノベーション・チーム・プログラム2024年・春」を実施しました。

本実証事業では、副題を「～確実に変化できる創発型の伴走支援プログラム～」とし、プロダクトイノベーションの志を持ち、将来コア企業を目指す経営幹部や、挑戦する企業を応援する担い手を対象に3ヶ月(計8回)の集合型研修に加え、現地伴走支援を実施。自社のイノベーション構想を練り、現地支援で詳細を詰め、座学に終わらせず、実践までをフォローアップしました。



【集合型研修】



イノベーション・チーム・プログラム講師 岡村 衡一郎 氏

有限会社経営コンサルティングアソシエーション 取締役社長

業種や企業の規模を問わず、業績向上をリードし、モチベーションの源となる「一品」づくりを行なっている。支援先企業の多くは、過去最高レコードを更新。著書に『会社に眠る財産を掘り起こせ』（朝日新聞社）、『「一品」で会社を変える』・『30代でチームのリーダーになったら最初に読む本』（東洋経済新報社）等あり。

開催回	開催日	会 場	テーマ
第1回	令和6年 1月13日（土）	東京たま未来メッセ （東京都八王子市旭町9-1）	イノベーションの原動力
第2回	令和6年 1月27日（土）	京王プラザホテル （東京都八王子市旭町14-1）	イノベーションの足場
第3回	令和6年 2月3日（土）	東京たま未来メッセ （東京都八王子市旭町9-1）	自社が顧客に支持されている真の理由
第4回	令和6年 2月17日（土）	オープンイノベーションフィールド多摩 （東京都八王子市明神町3-5-1）	未来へのシグナル可能性を見つける
第5回	令和6年 2月23日（金）	東京たま未来メッセ （東京都八王子市旭町9-1）	イノベーションの起点となる商品・サービスを明らかにする
第6回	令和6年 3月2日（土）	東京たま未来メッセ （東京都八王子市旭町9-1）	客層・グレード別マーチャндаイジング
第7回	令和6年 3月9日（土）	東京たま未来メッセ （東京都八王子市旭町9-1）	イノベーションのシナリオを描く
第8回	令和6年 3月16,17日 （土日）	富士電機能力開発センター （東京都日野市富士町1）	変化の日常化

参加企業：(株)イチカワ（羽村市）、音羽印刷(株)（千葉市）、(株)キャリア・マム（多摩市）、(株)デイトク（八王子市）、(株)トライヤーン（東大和市）、中西産業(株)（鎌ヶ谷市）、(株)やましたグリーン（八王子市）

個別ニーズに基づく企業支援 地域DX促進事業

I 事業概要

当協会では経済産業省「令和4年度地域新成長産業創出促進事業（地域DX促進活動支援事業）」の採択を受け、地域中小企業の労働生産性の向上を目的とした「首都圏ものづくりDX推進コミュニティ」を構築し、DXの活用促進を行って参りました。令和5年度も引き続き、地域中小企業の労働生産性向上を目的とした支援を行う一方、経済産業省「令和4年度補正 地域DX促進事業（サイバーセキュリティ対策拡充型）」の採択を受け、DX化に伴うサイバーセキュリティ対策支援を行うなど、攻めと守りの両面を意識した支援を行いました。



II 営業利益8%アップのDX支援（自主事業 前年度経済産業省補助事業）

経営者と幹部で企業の成長を目指すDX支援

経営者と幹部で3年後の営業利益（労働生産性）8%以上アップを目指すDXの支援
企業の成長のための支援ステップ



企業の方向性
目標の設定



現状認識
分析



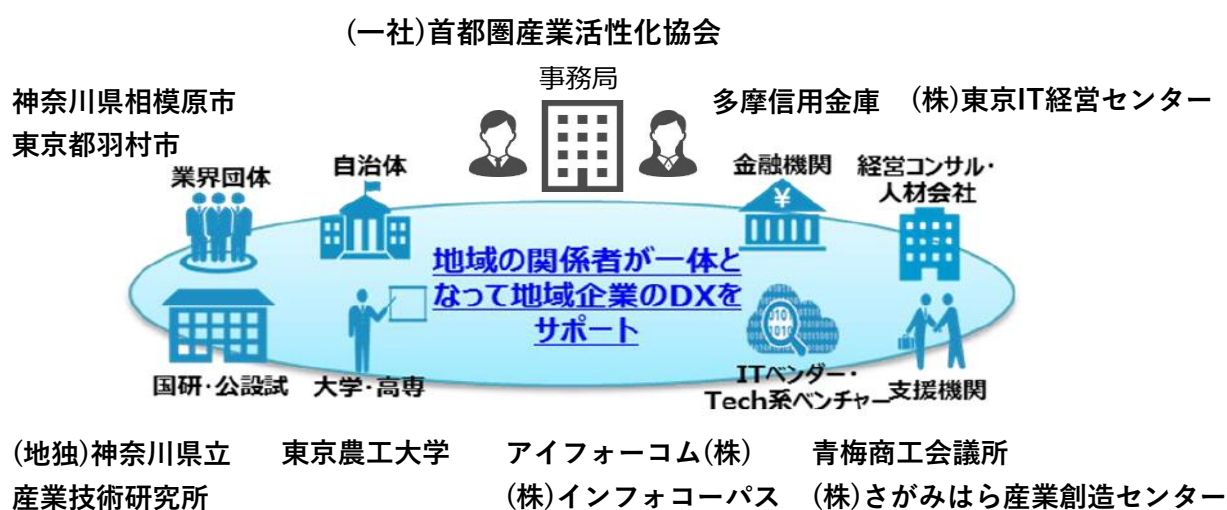
戦略策定・成長の
ためのアクション



DXソリューション
マッチング

- 実施内容：
- ・地域企業のDX推進に向けた課題分析・戦略策定の伴走型支援
 - ・地域企業とソリューション提供事業者（ITベンダー等）とのマッチング支援
 - ・その他、地域企業のDX推進に向けた支援活動

連携・協力体制



また、さらなる展開として、経済産業省令和4年度補正「地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域DX促進環境整備事業（業種等特化型DX促進事業））地域デジタルイノベーション実証型」にて、労働生産性の向上を目的とした、工作機械の稼働率向上システムを開発する動きも見られました。

採択事業名： DXつながる機械ネットワークによるものづくりエコシステム

Ⅲ サイバーセキュリティ対策拡充型（経済産業省補助事業）

経済産業省 令和4年度補正 地域DX促進事業「サイバーセキュリティ対策拡充型」の採択を受け、中小企業のサイバーセキュリティ強化のための戦略策定～サイバーセキュリティ対策の実行支援を実施しました。

【実施の流れ】

以下の活動を通じ、各社のサイバーセキュリティ対策の高度化と、「SECURITY ACTION」ロゴマーク（二つ星宣言）^{（注）}による顧客取引先などからの信頼向上が図られました。

（注）「SECURITY ACTION」は、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）によって行われている取組。



【開催ワークショップ・セミナー】

開催日	会場	セミナー名	参加数
令和5年 5月25日	八王子市新産業開発 交流センター（八王子市）	第1回攻めと守りのサイバーセキュリティ対策ワークショップ	12人
令和5年 8月24日	東京たま未来メッセ （八王子市）	第2回攻めと守りのサイバーセキュリティ対策ワークショップ	24人
令和5年 11月1日	サン・エールさがみはら （相模原市）	第3回攻めと守りのサイバーセキュリティ対策ワークショップ	18人
令和6年 1月31日	たましん事業支援センター （立川市）	～中小企業の経営力強化セミナー～ 攻めのDX戦略と守りのサイバーセキュリティ実践	11人
令和6年 2月9日	パシフィコ横浜（横浜市）	中小企業必見！サイバーセキュリティ最前線	45人
令和6年 2月21日	東京ビッグサイト（江東区）	スマートファクトリーJapan2024 中小企業の経営力を強化する「攻めのDX戦略と守りのサイバーセキュリティ実践」	10人
令和6年 3月13日	Security Days Spring 2024 （千代田区）	Security Days Spring 2024 ～実践的なワークショップで学ぶ！中堅・中小企業のサイバーセキュリティ最前線～	22人

【支援実績】

サイバーセキュリティ強化のための戦略策定、実行支援として、10社に対して、各々10回の専門家派遣による指導を実施。「専門家による支援を受けて、情報セキュリティの管理等において成果を得ることができたか？」の質問に対して、87.6%の参加者から「期待よりも非常に多かった」又は「期待より多かった」との回答が得られました。

研究開発支援事業（競争的資金獲得支援）

I 2023年度 競争的研究資金事業・提案への支援状況

会員企業の研究開発、技術及び生産の革新を支援し企業が目的とした技術の開発もしくは製品を商品化し、企業経営の安定化・成長を図り、それらの波及による地域振興を目的として、従前から様々な研究開発支援事業を展開しています。

さらに、TAMA-TLO(株)と協力して、企業のニーズを的確にヒアリングし、各テーマに関連した技術シーズを持つ大学研究者を選定し、産学連携での研究開発活動も推進しました。

①各種公的助成金事業での支援

国や自治体の公的助成事業（競争的研究資金）を多くの会員企業に有効活用して頂くため、迅速な情報提供、周知→個別相談会→計画書／提案書作成支援→採択後の事業遂行の支援を行いました。

（1）支援を実施した助成事業（支援数）

- | | |
|-----------------------|--|
| ① 東京都中小企業振興公社 | 東京都 令和5年度新製品・新技術開発助成事業（1件） |
| ② 東京都中小企業団体中央会 | 第5回 躍進的な事業推進のための設備投資支援事業（1件） |
| ③ 中小企業庁 | 令和2年度第3次補正予算「中小企業等事業再構築促進事業」第11次（1件） |
| ④ 中小企業庁
（全国商工会連合会） | 小規模事業者持続化補助金＜一般型＞第13回公募（1件）、14回（1件） |
| ⑤ 中小企業庁 | 令和5年度 中小企業のイノベーション・プロデューサー |
| ⑥ 経済産業省 | 令和年度成長型中小企業研究開発事業（Go-tech）（5件） |
| ⑦ 全国中小企業団体中央会 | 令和元年度補正・令和2年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金第16次（1件） |
| ⑧ 市村清新技術財団 | 第112回新技術開発助成（令和5年度第2次）（1件） |
| ⑨ 東京都中小企業振興公社 | 東京都・令和5年度TOKYO戦略的イノベーション促進事業（1件） |

（2）採択された助成事業

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| ① 東京都中小企業振興公社 | 東京都 令和5年度新製品・新技術開発助成事業 1件 |
| ② 東京都中小企業団体中央会 | 第5回 躍進的な事業推進のための設備投資支援事業 1件 |
| ③ 中小企業庁
（全国商工会連合会） | 小規模事業者持続化補助金＜一般型＞第13回公募 1件 |
| ④ 経済産業省 | 令和5年度成長型中小企業研究開発事業（Go-tech） 2件 |
| ⑤ 中小企業庁 | 令和5年度 中小企業のイノベーション・プロデューサー |
| ⑥ 市村清新技術財団 | 第112回新技術開発助成（令和5年度第2次）（1件） |



(3) 事業管理機関として支援した事業（新規2件、継続6件）

継続案件

【経済産業省 令和3年度戦略的基盤技術高度化支援事業】

テーマ名：難削材料の高能率・高精度加工のための無線型および空気軸受け超音波スピンドルの開発
共同研究体構成：中核企業…株式会社industria（埼玉県）
学校法人日本工業大学、国立大学法人東京工業大学
研究開発期間（予定）：令和3年度～令和5年度

テーマ名：夢の機能材料「グラフェン」量産化・低価格化を実現する革新的製造技術の開発
共同研究体構成：中核企業…株式会社常光（東京都）
国立大学法人大分大学
研究開発期間（予定）：令和3年度～令和5年度

【経済産業省 令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業】

テーマ名：水環境インフラ点検に資するIoT向け省電力オール光ファイバ水位計測システムの開発
共同研究体構成：中核企業…株式会社コアシステムジャパン（東京都）
学校法人創価大学
研究実施機関：令和4年度～令和6年度

テーマ名：日本のカーボンニュートラルに貢献するプラスチック小部品用の超高塗着塗装技術の開発
共同研究体構成：中核企業…久保井塗装株式会社（埼玉県）
株式会社明治機械製作所、武蔵塗料株式会社、公立大学法人東京都立大学
研究開発期間：令和4年度～6年度

テーマ名：AI駆動型の細胞解析技術を用いた、白血病の早期発見技術に関する研究開発
共同研究体構成：中核企業…シンクサイト株式会社（東京都）
学校法人順天堂 順天堂大学
研究開発期間：令和4年度～6年度

テーマ名：生コンの品質判定のAIエッジデバイス化に関する研究開発
共同研究体構成：中核企業…株式会社カイ（東京都）
研究開発期間：令和4年度～6年度

新規案件

【経済産業省 令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業】

テーマ名：AI搭載のモデリング特化型コラボレーションツールの開発による製造業の
製品・サービス設計の高度化

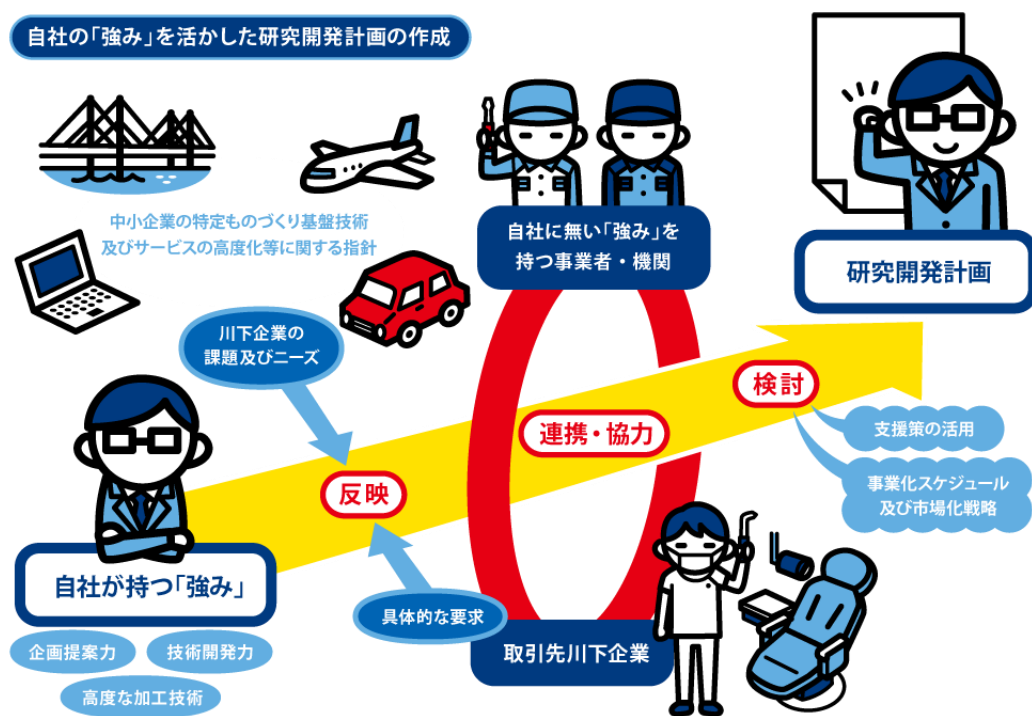
共同研究体構成：中核企業…株式会社レヴィ（東京都）
大阪公立大学
研究実施機関：令和5年度～令和7年度

テーマ名：環境負荷低減と低コスト化のための電気自動車向けコネクタ成形最適化システムの開発
共同研究体構成：中核企業…株式会社MAZIN（東京都）
研究開発期間：令和5年度～7年度

Go-tech事業（旧サポイン） 中小企業の研究開発・試作品開発などを支援する事業

Go-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）は、中小企業が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う研究開発、試作品開発及び販路開拓への取組を、最大3年間、通常枠で合計9,750万円、出資獲得枠で合計3億円の補助金を受けることができる経済産業省の支援制度です。

※令和4年度より、旧戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）及び旧商業・サービス競争力強化連携支援事業（サビサボ事業）が統合され、成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）となりました。



※中小企業庁 Go-techマッチナビより

■ 基本情報① ■

補助事業期間：2年度又は3年度

補助金額：補助事業あたり、単年度4,500万円以下
2年度の合計で、7,500万円以下
3年度の合計で、9,750万円以下
(定額補助率となる者については補助金総額の1/3以下であること)

補助率：2/3以内
※大学・公設試等の場合は定額
(ただし大学・公設試等が事業管理機関として共同体に参加している場合に限る)
※同一機関が複数の補助率を適用することはできない

■ 基本情報② ■

令和4年度より新しく出資獲得枠が新設され、令和5年度も募集されました。

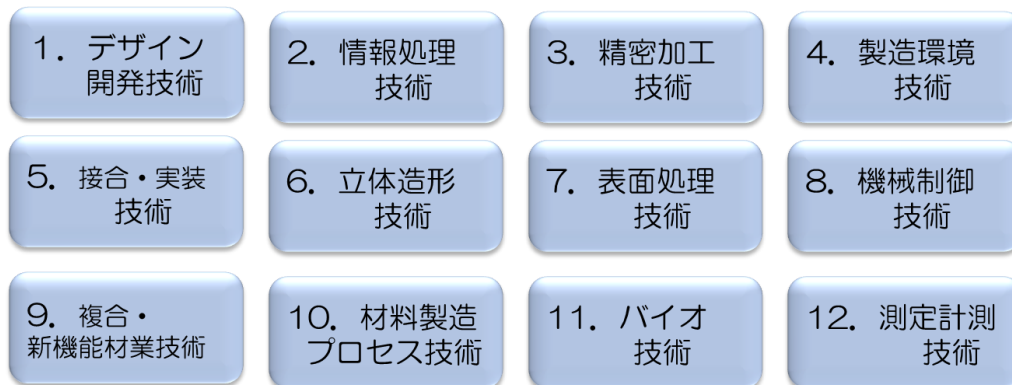
出資獲得枠：単年度 1 億円以下
2年度の合計で2億円以下
3年度の合計で3億円以下
※ファンド等が出資を予定している累計金額の2倍を上限

■基本情報③■

Go-techを申請するには、取り組もうとする研究開発が「中小ものづくり高度化法」で定められた「特定ものづくり基盤技術」にあてはまる事が必要。

※中小ものづくり高度化法とは※

中小企業ものづくり基盤技術の高度化を図り、我が国の製造業の国際競争力及び新たな事業の創出を通じて、国際経済の健全な発展に寄与することを目的とするもの



中小ものづくり高度化法で定められた「特定ものづくり基盤技術」について、各分野ごとに高度化に関する「高度化指針」が定められています。

＜技術分野別の採択状況（採択件数／申請件数）＞

デザイン 10 / 30 採択倍率：約3.0	情報処理 24 / 105 採択倍率：約4.4	精密加工 61 / 113 採択倍率：約1.9	製造環境 14 / 35 採択倍率：約2.5	接合・実装 28 / 68 採択倍率：約2.4	立体造形 27 / 48 採択倍率：約1.8
表面処理 35 / 68 採択倍率：約1.9	機械制御 20 / 44 採択倍率：約2.2	複合・新機能材料 47 / 107 採択倍率：約2.3	材料製造プロセス 24 / 73 採択倍率：約3.0	バイオ 37 / 111 採択倍率：約3.0	測定計測 44 / 122 採択倍率：約2.8

引用：中小企業庁Go-techマッチナビより

※平成31年度、平成30年度、平成29年度の3年分の実績をもとに算出されております。

※申請不備等により審査対象外となったものは除いています。

＜直近の全国、関東経済産業局管内採択実績＞

（）内は弊協会採択件数

年度	予算額 (億円)	全国採択件数 (件)	関東申請件数 (件)	関東採択件数 (件)
平成28年度	139.7	113	107	35
平成29年度	130.0	108	96	22
平成30年度	130.0	122	103	29 (内1件)
令和元年度	131.0	137	93	38 (内2件)
令和2年度	131.2	105	115	33 (内3件)
令和3年度	109.0	60	86	14 (内2件)
令和4年度 ※2次公募含む	162.6	132	通常枠107 出資獲得枠3	通常枠36 (内4件) 出資獲得枠1件
令和5年度 ※2次公募含む	133.0	155	通常枠71 出資獲得枠6	通常枠28 (内2件) 出資獲得枠0件

※令和5年度は、通常枠で全国235件の応募に対採択155件（倍率約1.5倍）

個社支援事例

I 狭山市中小企業経営支援相談業務（狭山市より受託）

狭山市より委託を受け、市内中小企業の市場競争力を高めるため、各社個別のニーズに基づく支援や指導を行いました。

【事業概要】

業務件名： 中小企業経営支援相談委託

業務期間： 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

内 容： ①新製品開発、既存製品の改良に関する技術指導
②産学官連携の仲介
③公的助成金の紹介、手続きの指導
④特許出願の手続きの指導等
⑤その他経営に関する総合的な指導

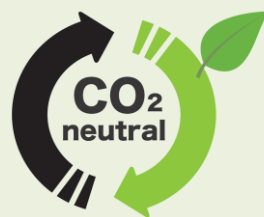
【支援実績】 支援社数： 7社 支援回数： 22回

内 容： ・ものづくり補助金・小規模事業者持続化補助金のご案内および申請企業への指導・助言
・経営体制構築などの指導、助言
・事業承継に関する相談先の調査、フォローアップ
・公設試の研究情報に関する技術情報の提供
・特許出願についての指導、助言
・特許庁審査請求料減免制度の活用についての相談対応

Topic

カーボンニュートラルに関する相談窓口を開設しました

カーボンニュートラルや脱炭素化に取り組む中小企業・小規模事業者を応援すべく、豊富な経験と実績を有するTAMAコーディネーターたちがご相談をお受けします。また、省エネルギー対策の情報提供や環境経営に関するアドバイスも行います。



- ・相談形態：対面形式もしくはオンライン会議システム（Zoom）
- ・対象者：会員企業のみなさま
- ・相談日時：ご希望の日時に沿って調整いたします
- ・費用：無料
- ・申込方法：下記申込フォームからお申し込みください（事前予約制）

<https://www.tamaweb.or.jp/cn-consul-counter>



I 台湾視察（台湾におけるカーボンニュートラルの取り組み最新動向の把握）

会員をはじめとする首都圏西部地域のものづくり企業と台湾企業の相互交流を図ることにより、カーボンニュートラルを事業機会とする日台の企業間連携および産学官連携の促進を目指し、現地視察ツアーを実施しました。

視察日時： 令和5年6月29日（木）～7月2日（日）

参加企業： 8社 11名

訪問先： ● 財団法人工業技術研究院（ITRI）（台湾新竹県竹東鎮中興路四段195号）

①工業技術研究院の紹介

②工業技術研究院 研究開発部長 周 駿呈 様

「サステナビリティトレンドでESG業界の動き及び台湾のESG推進経験について」



工業技術研究院（略称：ITRI）は、1973年に設立された世界的な研究開発機構。研究者数は6,000名超。科学技術の研究開発により、産業発展と経済価値を創造し、社会福祉を促進する事を目的として活動中。

● 州巧科技有限公司（JOCHU）（台湾新竹県303湖口新竹工業団地光復路42号）

①州巧科技有限公司 事業開発部 林 逸萍 様

「州巧科技有限公司のご紹介」

②工場見学・製品紹介



州巧科技有限公司（略称：JOCHU）は2000年に設立され、主に光エレクトロニクス産業や通信産業向けのプレス・金型の技術開発に取り組んでいる。当社は純粋なOEMから顧客の重要なキーコンポーネントを開発するODMの役割へと転換し、製品の付加価値を向上。2018年には、高付加価値のホームメタル製品や医療補助機器関連製品など、新たな事業分野に進出し、多岐にわたる分野で活躍中。

● 中國砂輪企業股份有限公司（KINIK）（台湾新竹県竹北市石興路260号）

①中國砂輪企業股份有限公司 最高経営責任者 トーマス・シェイ 様

「中國砂輪企業股份有限公司のご紹介」

②工場見学・製品紹介

中國砂輪企業股份有限公司（略称：KINIK）は1953年に設立され、砥石の専門メーカーとして、技術・生産規模・製品の多様性・顧客サービスにおいて業界トップクラスを誇る。最近では、長年にわたって蓄積した“研磨”と“切削”の専門知識を活かし、ダイヤモンド関連産業やウェーハのリサイクル産業にも事業を拡大し、高度な技術を駆使しながら業界を牽引する企業に変革した。



Ⅱ TAMA地域の視察

台湾視察にて交流を深めた台湾のキーパーソンをお迎えし、TAMA地域のご案内を行いました。

視 察 日 時 : 令和5年7月27日(木)

メ ン バ ー : 財団法人工業技術研究院 国際連携担当役員 兼 所長 楊 馬田 様
台日産業技術合作促進会 事務局長 林 峻暉 様

訪 問 先 : ● 八王子市役所 (東京都八王子市元本郷町3-24-1)
● (株)イチカワ (東京都羽村市神明台4-8-39)
● (株)industria (埼玉県入間市宮寺2700)

Ⅲ 連携協定の締結



今回の台湾視察をきっかけとして、一般社団法人首都圏産業活性化協会と台日産業技術合作促進会は、日台技術連携および販路開拓支援を効果的に行うため、連携協定を締結しました。今回の連携協定を機に、相互に協力し、中小企業支援を更に強化していくことで、新市場開拓を目指していきます。

締結日時: 令和5年9月22日(金)

方 法: オンライン会議Zoom

出 席 者: 一般社団法人首都圏産業活性化協会 会 長 野長瀬 裕二
理事・事務局長 芳賀 啓一
台日産業技術合作促進会 理 事 長 黄 重球 様
理事・秘書長 林 峻暉 様

目 的: 両者は、相互に連携、協力及び綿密な情報交換を行うことにより、当該地域の中堅・中小企業等の成長発展に寄与する。

想定される取組: ・ 会員企業による台湾企業視察ツアー
・ 台湾企業による会員企業の視察ツアー
・ 台湾における会員企業との商談会
・ 日本における台湾企業との商談会

【台日産業技術合作促進会とは】

2008年設立。日本と台湾における産業技術を交流するプラットフォームとして位置づけられ、技術提携、共同開発、投資合併、或いは提携による第三市場の開拓をサポートすることを取り組む団体。

I 概要

技術を経営資源とする企業のテクノロジーとマネジメントに精通した人材育成を行っていくため、各種団体や大学等と連携して「ものづくり人材育成プログラム“技術経営大学”」を実施しました。



II 令和6年入社対象者の為の内定者フォロー研修（オンライン開催）

地域企業の令和6年入社予定の内定者を対象に、社会で生き抜くタフさを身に着けるためのフォロー研修を開催しました。来春までの継続した研修により「内定者の状況把握」や「企業とのつながり」を深め、内定辞退や入社後の早期退職防止のサポートをしました。また参加企業様横断の人事担当者ミーティングも実施することにより、意見交換を通じて自社の体制づくりを考察いただきました。

入社までの継続サポートを実現する
内定者合同フォロー研修
オンライン開催

首都圏産業活性化協会では地域企業の内定者を対象に、社会で生き抜くタフさを身に着けるためのフォロー研修を開催します。来春までの継続した研修により「内定者の状況把握」や「企業とのつながり」を深め、内定辞退や入社後の早期退職防止のサポートをします。また参加企業様横断の人事担当者ミーティングも実施することにより、意見交換を通じて自社の体制づくりを考察いただきます。

【研修テーマ】 対応のコミュニケーション力を養成
1. 社会で生き抜くタフさを身につける 2. 人とかがわっていき関わりを持つ 3. 社会人デビューの準備

関係性構築とコミュニケーション土台作り
・コミュニケーションとは
・自分のコミュニケーション特徴を理解する
・Youメッセージ×Iメッセージ
・ビジネスで使える傾聴力を身につける
・数えてもの増えを自覚する

自分のキャリアを考える
・自分史（マイキャリアシート）の作成
・入社後のキャリアプランイメージ
・強みを理解し発揮のパターンを捉える
・弱みを理解しコントロールする

想定と現実のギャップを乗り越えるヒント
・ギャップをイメージする～その我慢や忍耐は未来につながるのか～
・視界と視座の展開手法
・マイルールの設定

ストレスの構造を知り環境変化に対応する準備
・ストレスとは
・ストレス測定
・ストレスマネジメント
・入社までに心と体のコンディションを整える

社会人とは
・人と交わって仕事ができることへの理解

受講料 全6回研修 + 能力検定
会員 38,000 円（税込）/名 一般 75,000 円（税込）/名
※講座①～⑥の計6回参加を原則としております。
※能力検定受検料(6,050円)を含みます。
※研修後に請求書を発行させていただきます。

カリキュラム

社会人とは

- ・人と交わって仕事ができることへの理解

自分のキャリアを考える

- ・自分史（マイキャリアシート）の作成
- ・入社後のキャリアプランイメージ
- ・強みを理解し発揮のパターンを捉える
- ・弱みを理解しコントロールする

想定と現実のギャップを乗り越えるヒント

- ・ギャップをイメージする～その我慢や忍耐は未来につながるのか～
- ・視界と視座の展開手法
- ・マイルールの設定

関係性構築とコミュニケーション土台作り

- ・コミュニケーションとは
- ・自分のコミュニケーション特徴を理解する（機微力検定フィードバック）
- ・Youメッセージ×Iメッセージ
- ・ビジネスで使える雑談力を身につける
- ・教えてもらう場を自らつくる

ストレスの構造を知り環境変化に対応する準備を行う

- ・ストレスとは
- ・ストレス測定
- ・ストレスマネジメント
- ・入社までに心と体のコンディションを整える

参加者数： 4社 11人

開催日時： 担当者事前ガイダンス 令和5年9月21日（木）11:20～11:50

講座① 令和5年10月24日（火）15:00～17:00

講座② 令和5年11月16日（木）15:00～17:00

講座③ 令和5年12月14日（木）15:00～17:00

講座④ 令和6年 1月11日（木）15:00～17:00

講座⑤ 令和6年 2月 9日（金）15:00～17:00

講座⑥ 令和6年 3月14日（木）15:00～17:00

担当者振り返りガイダンス：2024年3月21日（木）15:30～16:45

講師： 株式会社KIBI 上級研究員 見附 誠子 氏



東京都出身

1986年(株)リクルートフロムエー入社（現（株）リクルート）。企業の人材広告の営業から、複数の新規事業の立ち上げに従事。その後、人材総合代理店の取締役を経て、キャリアコンサル・コーチング・講師・採用コンサルとして独立。コミュニケーション・階層別研修や大学でのキャリア講義を務める。

Ⅲ 合同新人研修

「周回との連携」「相互信頼」をテーマに、オンラインでの新入社員研修を開催しました。社会人、プロフェッショナル人材への第一歩として必要なマナーやコミュニケーション、ものづくり企業で働くための基礎を地域の同期と合同で学習していただきました。

開催日： 令和5年4月4日（火）～6日（木）10:00～17:00
 会場： 八王子市学園都市センター 第5セミナー室
 （東京都八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル12F）
 対象： 令和5年度 新入社員 ～ 社会人3年目までの方
 参加者数： 8社 16名



講師： 株式会社KIBI 上級研究員 見附 誠子 氏 TAMAコーディネーター 横山 勝治 氏



東京都出身
 1986年株式会社リクルートフロムエー入社（現（株）リクルート）。企業の人材広告の営業から、複数の新規事業の立ち上げに従事。その後、人材総合代理店の取締役を経て、キャリアコンサル・コーチング・講師・採用コンサルとして独立。コミュニケーション・階層別研修や大学でのキャリア講義を務める。



大手電機メーカーの研究開発部門に所属し、大学、企業との共同研究や新製品の開発を25年。パワー半導体、太陽電池などのハイテク分野の生産設備開発を10年。いずれも開発プロジェクトリーダーを担当。現在は首都圏産業活性化協会のコーディネーターとして産学連携事業、製造業の若手中堅技術者教育、中小企業の生産性向上や品質改善等のコンサルティングにも取組を広げる。

カリキュラム：

＝ 目的 ＝	＝ プログラム ＝
1. 組織で生き活きと活躍するための基礎・土台づくり。 2. TAMA協会を通して、次世代を担う新人が親交を深め、新たなものづくりやビジネス機会につなげていく。 3. ものづくりに携わる基本スタンスの形成。	【1】社会人の心得・プロフェッショナル人材への第一歩 【2】ビジネスマナー 【3】期待や要望をされる人材になるためのコミュニケーション 【4】組織・チームで活かすメンバーシップ：KIBI理論 【5】ものづくり基礎研修 【6】今後の目標設定と研修の振り返り
＝ 方針 ＝ 体感型プログラムで、明日からの仕事に活かせる実践的な研修。	KIBI理論：5つの機微力 ①状況想像力 今後起こりうる状況を想像する力 ②リアクション力 状況に応じた最善を実行する力 ③気持ち察し力 相手の立場に立ち、相手の気持ちを感じとる力 ④共感力 相手の立場に立ち、共感する力 ⑤柔軟性 相手に応じて柔軟に寄り添う力

● フォローアップ研修

令和5年4月に実施した「合同新人研修」にご参加頂いた方を対象に、フォローアップ研修を開催しました。実際に働き始めた中で得た成功体験や疑問点・不明点を共有し合い、今後の活躍に結び付けて頂く事を目的として研修を実施しました。



開催日： 令和5年10月27日（金）13:00～17:00

会場： 東京たま未来メッセ 第4会議室
 （東京都八王子市明神町3-19-2）

内容： ・新人研修の振り返り
 ・目標設定（計画）
 ・機微力の定着化
 ・同期としての関係性構築

I 会報誌「つなぐWa TAMA経済NEWS」



当協会の取組や会員の企業・大学・自治体・商工団体・金融機関・専門家の紹介、国等の施策紹介など、会員の皆さまからの情報をお届けしています。

2023年5月より、かながわ経済新聞のご協力のもと、会報誌「つなぐWa TAMA経済NEWS」を毎月12日に発行しました。



会報誌アーカイブ

発行ナンバー： No.32（2023年5月発行） ～ No.42（2024年3月発行）

発行方法： ① 紙媒体 1,000部
（会員への配布、かながわ経済新聞への折込み、関係機関の設置ポイント）

② 電子メール配信 1,000通（会員一斉配信、職員による個別配信）

Ⅱ ホームページによる情報提供

企業・大学の製品・技術を横断的に検索可能なカスタム検索エンジン、協会が発行する冊子の電子ブック版などを掲載しています。

トップページ

(<https://www.tamaweb.or.jp>)



開催イベントのご案内の他、会員一覧、TAMAコーディネーターのご紹介、会員紹介動画、イベントお見逃し動画配信を掲載しています。

製品・技術PRレポートページ

(<https://www.tamaweb.or.jp/report-2>)



電子ブック・資料

企業のコア製品・技術がひとめでわかる「製品・技術PRレポート」が1,700社以上、大学のシーズや企業との連携希望内容をまとめた「大学技術工房」が600以上登録されており、キーワードによる検索も可能です。

MOVIEページ

(<https://www.tamaweb.or.jp/tama-video>)



開催イベントのご案内の他、会員一覧、TAMAコーディネーターのご紹介、会員紹介動画、イベントお見逃し動画配信を掲載しています。

TAMAコーディネーターページ

(<https://www.tamaweb.or.jp/tama-coordinator>)



ビジネスプラン・経営戦略、研究開発・産学連携、商品企画・商品開発、営業・マーケティング、特許・知的財産権、IT・情報化、生産管理・物流、人事・労務、海外・国内販路開拓など専門分野を持ったTAMAコーディネーターをご紹介します。

Ⅲ 情報別メーリングリストの運用による効果的な情報提供

協会支援メニューや主催事業だけでなく、国・都県や支援機関等の補助金情報や支援施策・セミナー情報、官公庁などが発表する統計情報やニュース、また会員からの情報をタイムリーに発信しています。

※受信をご希望の場合は、事務局 (info@tamaweb.or.jp) へご連絡ください。

TAMAコーディネーター制度

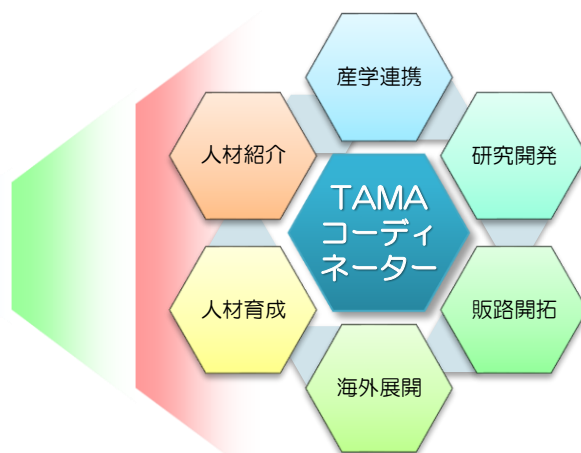
I TAMAコーディネーター

当協会では、中小企業診断士、技術士、弁理士、公認会計士、税理士、社会保険労務士ほか、大手企業OBなど多様なスキルをもつ約130人の専門家を「TAMAコーディネーター」として登録しています。

TAMAコーディネーターは、企業の課題解決や競争力向上のため、様々な個別支援を行うほか、協会のスタッフとして、事業プログラムの企画や進行管理、協会主催のセミナー講師など、会員へのサービス提供のため、事務局とともに幅広く活躍しています。

課題を持つ企業などがコーディネーターの皆様を探索し、ご相談しやすい仕組み作りを構築するために、Web公開希望をされたコーディネーターの方をホームページへ掲載しました。

活動分野・活動事業

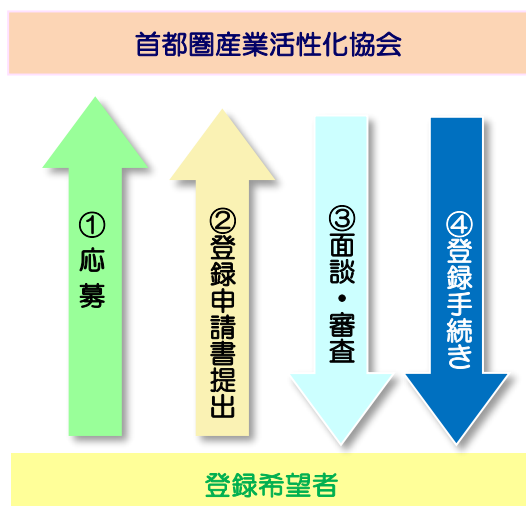


TAMAコーディネーター
ご紹介ページ

<活動例>

- IoT導入ハンズオン支援
- 経営デザインシート作成支援
- シニア人材個別マッチング
- 展示会マッチングサポート
- 共同研究プロジェクト等のプロジェクトマネジメント・コーディネーター
- カーボンニュートラルに関する支援
- 協会主催セミナー等の講師紹介

TAMAコーディネーター登録の概略



コーディネーター保有資格

資格
中小企業診断士
技術士
弁護士
弁理士
公認会計士・税理士
ITコーディネータ
社労士、経営士、その他

I 自治体等との連携

首都圏西部地域をはじめ、国や全国の地域・団体との連携事業をお受けしています。今後も、国内外における産業支援機関との交流を図り、地域を超えた産業支援ネットワーク形成を目指してまいります。

<地域内事業>

地域	事業名	事業内容
全国中小企業団体中央会	令和5年度ものづくり補助事業 展示商談会「中小企業 新ものづくり・新サービス展」コーディネーター対応業務 ※日本コンベンションサービス(株)より受託	「ものづくり補助事業」に取り組んだ全国の中小企業が新たに開発した製品・サービス・技術等と、それをビジネスに活用したい人を「つなぐ」ための展示商談会「中小企業 新ものづくり・新サービス展」にて、出展者のビジネスチャンスを広げるためのフォローアップを実施しました。
埼玉県	ロボット関連技術PRカード作成業務	埼玉県は、市場規模拡大が見込まれる「社会的課題解決に資するロボット」開発を支援する「SAITAMAロボティクスセンター」の整備を進めております。本業務では、センター開業後を見据え、オープンイノベーションによるロボット開発を実践するために必要となるロボット開発関連企業の掘り起こしや技術シーズの見える化、ロボット産業参入に向けたマッチング支援を実施しました。
東京都	「たま未来・産業フェア」におけるコーディネーター対応業務 ※日本コンベンションサービス(株)より受託	「たま未来・産業フェア」は、多様な企業と地域の皆様との交流を通じた新たな連携とイノベーションの創出を目的とし、「ものづくり」「GX・DX」「くらし」「地域資源」の4つの分野で、約140社の製品・サービスが一箇所に集まる多摩地域での展示会です。当協会は出展者のビジネスチャンスを広げるためのフォローアップを実施しました。
神奈川県	令和5年度ロボット開発企業と神奈川県内中小企業の受発注マッチングを行うための調査 ※(株)MILIZEより受託	成長分野ながら参入へのハードルが高いロボット産業分野への参入を促すべく、ロボット部品等を供給できる県内中小企業と、有望なロボット企業とのマッチングを図るため、ニーズヒアリングおよびマッチング支援業務を実施しました。
日野市	ものづくり企業事業拡大支援業務	企業の長期的な利益創出に資する成長産業参入、生産性向上、社会環境変化への対応、経営革新等に係る知識・技術を提供し、市内ものづくり企業の事業拡大の契機創出及び加速化を図るため、市内ものづくり企業が抱える課題や要望についてのヒアリングおよび課題解決支援を実施しました。
羽村市	羽村市連携構築・強化支援事業	羽村市内外の企業交流を図るために、技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンを行い、プレゼンを聞いた意欲的企業家達とのマッチングを目指した異業種交流会「はむらイブニングサロン」を6回実施しました。 また、社会経済の変革が著しい中で事業継続を支援するため、「Jacky柴田のマーケティング道場」を実施しました。
狭山市	狭山市中小企業経営支援相談業務	インキュベーション施設入居企業をはじめ、市内企業の産学連携、特許情報の活用に関する情報提供、効果的なアドバイスを実施するため、専門家を派遣しました。

Ⅱ 自治体地域産業政策勉強会

自治体が産業振興・企業支援を行うにあたり、地域中小企業の実態と行政や地域に求めるニーズを把握するため、施策や事例を学び、自治体間のネットワークを構築・強化する目的で自治体産業振興担当者を対象に自治体地域産業政策勉強会を開催しました。引き続き、関東経済産業局、特別区長会との共催として、特別区（東京23区）の実務担当者を対象とした「産業振興セミナー」と合同開催し、より広域的な自治体間の交流やネットワークの形成に資する会として実施しました。



開催回	開催日	会 場	参加自治体数
	内 容		
第12回	令和5年8月25日	リアル／オンラインのハイブリッド開催	17
	テーマ：「社会課題解決を目指した公民連携・産学官金連携」 ・SAITAMAロボティクスセンター（仮称）について（埼玉県） ・中山間地域におけるドローン物流による社会的課題解決（秩父市） ・RIDCの概要説明（関東経済産業局） ・グループワーク／意見交換・発表		
スピノ フ企画	令和6年1月19日	集合開催	15
	テーマ：「さがみはら産業創造センター 見学会・意見交換会」 ・さがみはら産業創造センターの取組紹介 ・施設見学 ・質疑応答、意見交換		
第13回	令和6年2月14日	オンライン開催	18
	テーマ：人材不足・人材育成における課題解決 ・R6年度予算についてのご紹介（関東経済産業局） ・自治体と連携した人事課題の解決（株式会社シンミドウ） ・新卒採用活動は会社を変える（株式会社industria）		

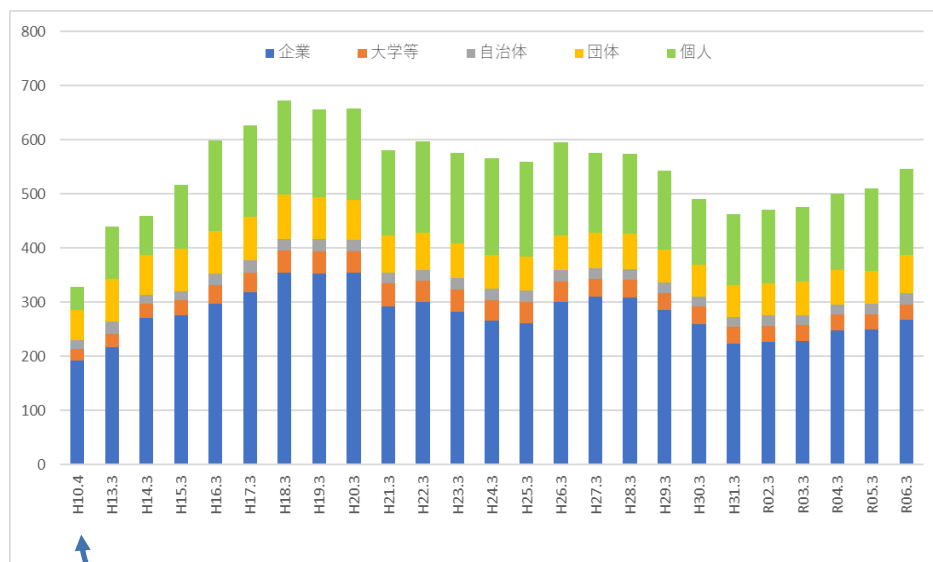
Ⅲ 国内支援機関等との交流

地域 ・ 団体	交流内容
一般社団法人日本自動車部品工業会	特別会員として参画
八王子商工会議所	一般会員として参画
一般財団法人浅間リサーチ エクステンションセンター (AREC)	賛助会員として参画
公益社団法人八王子法人会	会員として参画
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム	三号会員（民間企業等）として参画
一般財団法人製造科学技術センター (IAF)	情報会員として参画
東京都	多摩イノベーションエコシステム 実行委員会 幹事会
神奈川県	さがみロボット産業特区 重点支援プロジェクト支援委員会委員
所沢市	都市型産業等育成補助金審査員 所沢市産業振興ビジョン推進会議 委員
相模原市	オープンイノベーションプログラム 選考委員
羽村市	羽村市産業振興計画懇談会委員
芝浦工業大学	COC事業外部評価委員会
東京農工大学	卓越大学院プログラム 連携機関 全国ダイバーシティネットワーク組織 東京ブロック 委員
東京都市大学	リカレント教育事業実施委員会 委員
東京都立大学	TAMA LEAP運営委員
狭山商工会議所 IMT会議	狭山市中小企業経営支援相談員
公益社団法人八王子観光コンベンション協会	MICE委員会委員
Forbes JAPAN	スモール・ジャイアンツ アワード アドバイザリーボード
首都圏南西地域産業活性化フォーラム (南西フォーラム)	運営委員会委員・企画部会委員
全国イノベーション推進機関ネットワーク	運営委員
青梅線沿線地域産業クラスター協議会	事務局会議に参画

データで見る会員の推移と現状

今年度は、総体として昨年度末より会員数は増加しました。企業会員数は昨年度の248社から267社へ増加しています。今後も会員様への支援を尽力して参ります。引き続き、地域活性化、発展のため、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

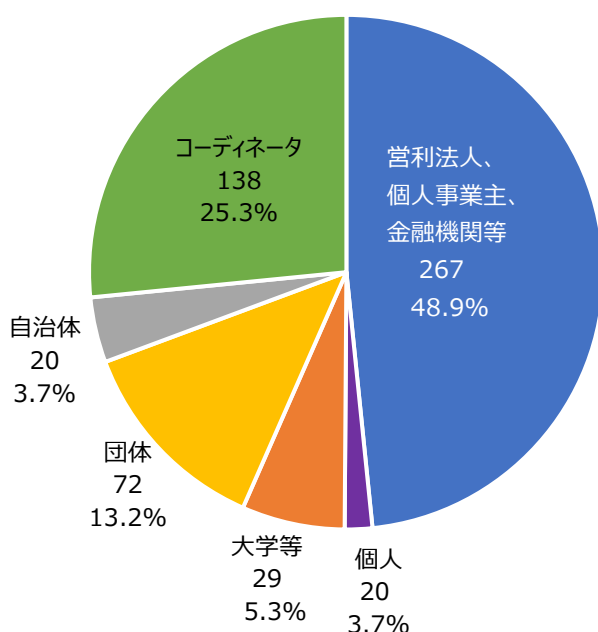
(1) 会員数の推移（平成10年度～令和5年度）



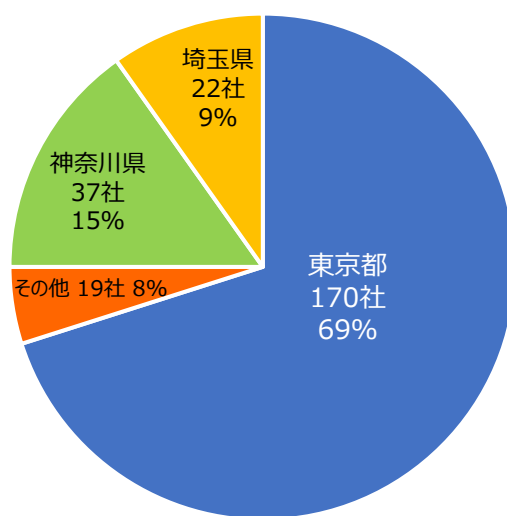
TAMA産業活性化協議会設立

平成10年4月のTAMA産業活性化協議会設立時総会員数328（うち企業会員193社）でスタートし、令和5年度末には総会員数546（うち企業会員267社）となっています。

(2) 会員の構成（令和5年度末）

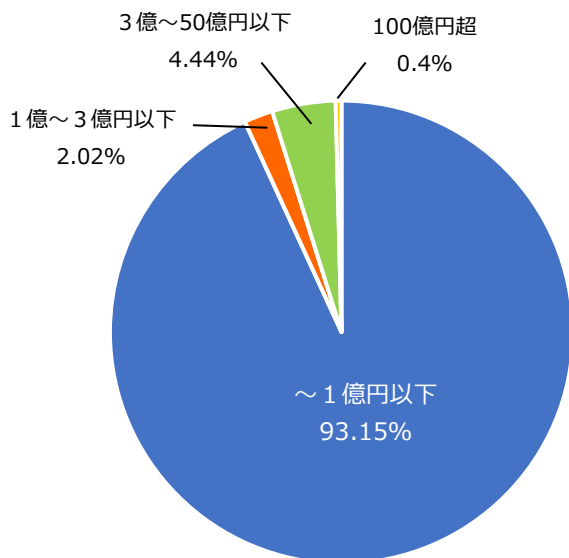


(3) 都道府県別企業会員数



令和6年3月末現在（総数＝546）

(4) 資本金別企業会員分類

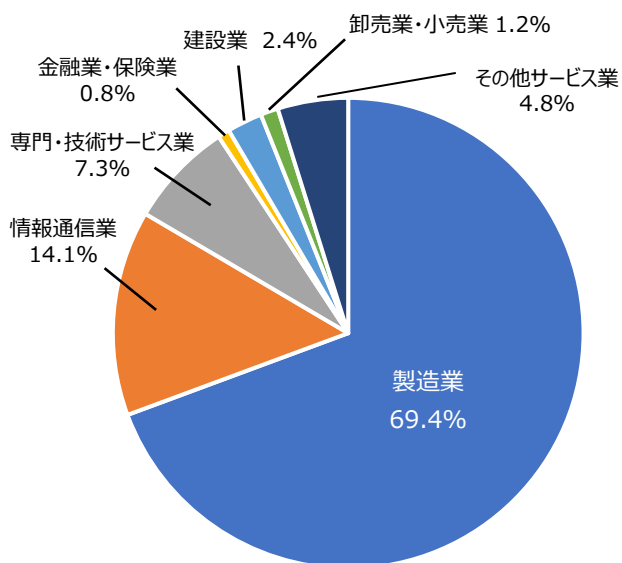


(5) 市区町村別企業会員数（トップテン）

No.	市区町村別	会員数
1	八王子市	25
2	相模原市	24
3	青梅市	14
4	千代田区	14
5	羽村市	12
6	西多摩郡瑞穂町	9
7	昭島市	9
8	立川市	8
9	横浜市	8
10	渋谷区	6
10	あきる野市	6

※上位10市区町村での企業会員合計135
(企業会員全体の54%)

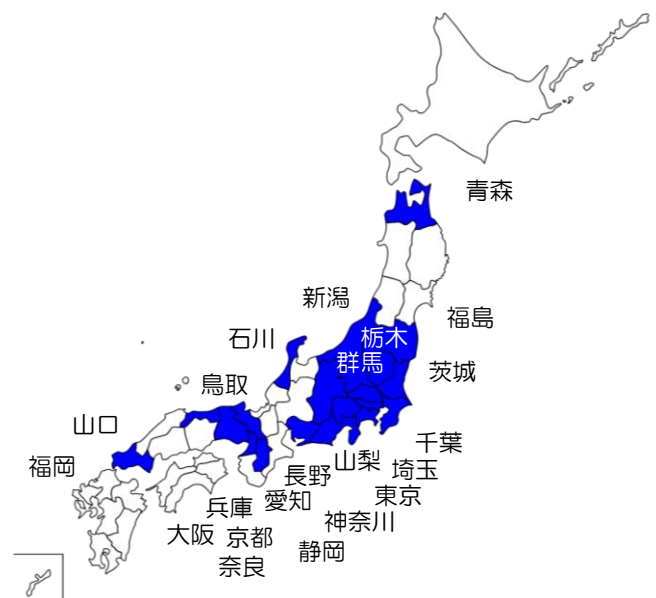
(6) 業種別企業会員分類



※日本標準産業分類にもとづく
(令和5年度末 企業会員総数=267)

(7) 会員所在分布図

(都道府県別)



企業会員を見ると、資本金3億円以下の中小企業が全体の約95.16%を占めています。
業種は製造業が全体の69.4%を占め、情報通信業(IT関連)が14.1%、次いで専門技術サービス業が7.3%、その他サービス業が4.8%となっています。
今後も、更なる充実したネットワーク構築を目指します。

◎ 年 表 ◎

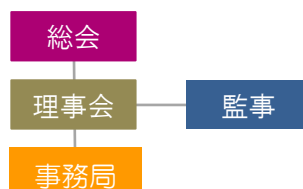
	全体事業	イノベーション創出	企業支援・政策推進	人材育成	ネットワーク強化
4月				4-6 合同新人研修 (八王子会場)	26 青梅線沿線地域 クラスター事務局会議 28 第39回 つなぐWaSession
5月	会報誌発行no.32 26 第1回理事会		25 サイバーセキュリティ対策 ワークショップ 第1回		22 つなぐWaSession Global 26 はむらイブニングサロン⑤ 29 青梅線沿線地域 クラスター事務局会議
6月	会報誌発行no.33 23 通常総会、会員交流会 29-2 台湾視察ツアー				12 神奈川県重点プロジェクト 委員会
7月	会報誌発行no.34 24 第6期3ヵ年計画 外部評価委員会 第1回				3 つなぐWaSession Global 13 はむらイブニングサロン⑥ 28 第40回 つなぐWaSession 31 多摩イノベーションコミュ ニティ ワークショップ③
8月	会報誌発行no.35 25 第6期3ヵ年計画 外部評価委員会 第2回		24 サイバーセキュリティ対策 ワークショップ 第2回 28 知財事業経営デザインシート 作成ワークショップ(上期)①		8 リサーチ・アドミニストレー ション協議会(出展) 10 つなぐWaSession 特別企画 25 自治体勉強会 25 第41回 つなぐWaSession
9月	会報誌発行no.36 22 第2回理事会 22 第6期3ヵ年計画 外部評価委員会 第3回		14 知財事業経営デザインシート 作成ワークショップ(上期)② 29 台湾企業との商談会		7 はむらイブニングサロン⑦ 22 第42回 つなぐWaSession
10月	会報誌発行no.37 28 第七期中期計画 策定委員会	25-26 新技術創出交流会 (後援/出展)		24 内定者合同フォロー 研修① 27 新人フォローアップ研修	23 つなぐWaSession Global
11月	会報誌発行no.38 24 第七期中期計画 策定委員会 28 第1回ゴルフコンパ	15 技術連携交流会 @かながわ	1 サイバーセキュリティ対策 ワークショップ 第3回	16 内定者合同フォロー 研修②	22 第43回 つなぐWaSession 14 西武信用金庫ビジネス フェア(出展) 29-30 国際ロボット展(出展)
12月	会報誌発行no.39 22 第七期中期計画 策定委員会		4 知財事業経営デザインシート 作成ワークショップ(下期)① 28 イノベーション・プロデューサー 担い手育成講座①	14 内定者合同フォロー 研修③	1-2 国際ロボット展(出展) 12 はむらイブニングサロン⑧ 15 第45回 つなぐWaSession 21 つなぐWaSession Global
1月	会報誌発行no.40 12 第3回理事会・ 賀詞交歓会	10 TAMA技術連携交流会 @八王子	11 イノベーション・プロデューサー 担い手育成講座② 13 イノベーション・チーム・ プログラム 集合研修① 17 知財事業経営デザインシート 作成ワークショップ(下期)② 26 イノベーション・プロデューサー 担い手育成講座③ 27 イノベーション・チーム・ プログラム 集合研修② 31 たましんDX戦略とサイバー セキュリティ実践セミナー	11 内定者合同フォロー 研修④	19 自治体勉強会(見学会) 24-25 彩の国ビジネス アリーナ 26-27 たま未来・産業フェア
2月	会報誌発行no.41	20-22 スマートファクトリー Japan2024(出展) 21-22 たま工業交流展 (出展)	3 イノベーション・チーム・ プログラム 集合研修③ 7 テクニカルショウヨコハマ 2024(出展) 15 羽村市マーケティング講座① 17 イノベーション・チーム・ プログラム 集合研修④ 23 イノベーション・チーム・ プログラム 集合研修⑤ 29 羽村市マーケティング講座②	9 内定者合同フォロー 研修⑤	14 自治体勉強会 16 第46回 つなぐWaSession 26 つなぐWaSession Global 28 はむらイブニングサロン⑨ 29 第47回 つなぐWaSession
3月	会報誌発行no.42 15 第4回理事会	12-15 Security Days 2024(出展)	2 イノベーション・チーム・ プログラム 集合研修⑥ 9 イノベーション・チーム・ プログラム 集合研修⑦ 12 羽村市マーケティング講座③ 15 イノベーション・プロデューサー 事業報告会 16-17 イノベーション・チーム・ プログラム 集合研修⑧ 27 HINT SICセミナー Webマーケティング実践	14 内定者合同フォロー 研修⑥	26 はむらイブニングサロン⑩

■ 役員 ※令和6年3月末現在

会長	特定非営利活動法人新都心イノベーションパートナーズ 代表理事、摂南大学経済学部 教授 野長瀬 裕二			
副会長	株式会社industria 代表取締役社長		高橋 一彰	
理事	相模原市 環境経済局 企業誘致担当部長	井熊 直人	株式会社ソーケンメディカル 代表取締役社長	石渡 弘美
理事	株式会社イチカワ 代表取締役副社長	市川 敦士	株式会社イノウエ 代表取締役社長	井上 毅
理事	電気通信大学 理事（研究・産学官連携戦略担当）	小花 貞夫	アイフォーコムホールディングス株式会社 代表取締役社長	加川 広志
理事	八王子商工会議所 会頭	檉崎 博	久保井塗装株式会社 代表取締役	窪井 要
理事	株式会社ユニテックス 代表取締役社長	小杉 恵美	第一合成株式会社 代表取締役	河野 良子
理事	DATAビジネス株式会社 会長	昆 凡子	株式会社アドテックス 代表取締役社長	佐藤 弘男
理事	相模原商工会議所 会頭	杉岡 芳樹	一般社団法人首都圏産業活性化協会 事務局長	芳賀 啓一
理事	羽村市長	橋本 弘山	株式会社ミラック光学 代表取締役	村松 洋明
理事	東京都中小企業振興公社 専務理事	矢田部 裕文	八王子市 産業振興部 部長	山岸 研
理事	東京都立大学 教授 学長補佐(研究) 産学公連携室長 楊 明			
監事	合同会社Endress 代表社員	池野 成雄	株式会社コスモ計器 代表取締役	古瀬 智之
参与	株式会社井口一世 代表取締役	井口 一世	武州工業株式会社 相談役、青梅商工会議所 副会頭	林 英夫

■ 組織 ※令和6年3月末現在

- 理 事：21人（会長 1人・副会長 1人）
- 監 事：2人 ■ 参 与：2人



■ 形態区分／初年度月会費・年会費のご案内

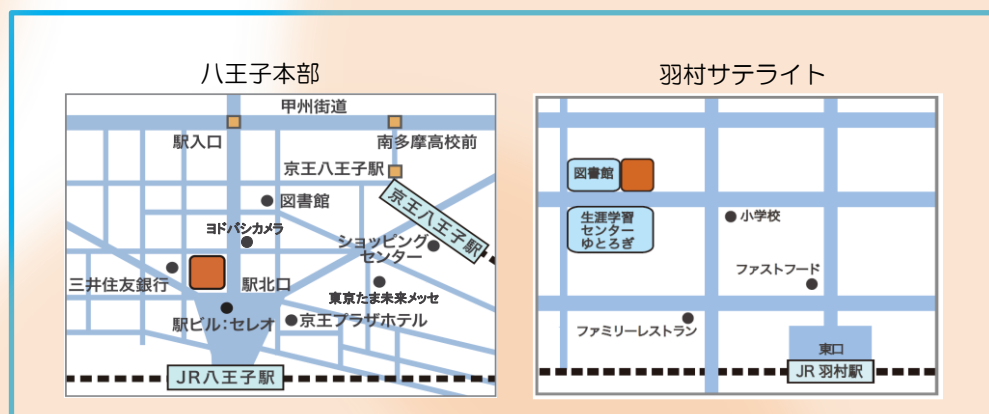
※令和6年7月改訂

※初年度の月会費は、入会日の月初より起算

会員種別	区 分	資 本 金 等	初年度月会費※	年 会 費
正会員	営利法人等	50億円超	42,500 円	350,000 円
		3億円超50億円以下	17,000 円	140,000 円
		1億円超3億円以下	12,750 円	105,000 円
		1億円以下	8,500 円	70,000 円
	個人事業主等	個人事業主、起業準備中の個人・創業5年以内の営利法人	4,250 円	35,000 円
	教育機関	教育機関・在日公館・通商機関・政府機関	1,000 円	10,000 円
	商工団体	—	1,000 円	10,000 円
	金融機関	—	14,000 円	140,000 円
	公益法人等	社団法人・財団法人・特殊法人、第3セクター	1,000 円	10,000 円
	中小団体	—	2,000 円	20,000 円
	地方公共団体	製造品出荷額等5,000億円以上	3,000 円	30,000 円
		製造品出荷額等5,000億円未満	1,000 円	10,000 円
	個人	—	1,000 円	10,000 円
賛助会員	営利法人等	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県に拠点を持たない営利法人	3,500 円	35,000 円
		中小企業以外 ※中小企業基本法第二条の範囲外 ※その他大企業相当の企業も含む	10,000 円	100,000 円
		小規模特例枠/従業員4名以下	2,000 円	20,000 円
	事業協力団体等	—	—	—

■ 入会申込書はホームページからダウンロード可能です。
<https://www.tamaweb.or.jp/about/guidance>





一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）

Technology Advanced Metropolitan Area

<https://www.tamaweb.or.jp>

ハ王子事務所 〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11F
TEL : 042-631-1140 FAX : 042-631-1124

羽村サテライト 〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2丁目11-1 羽村市産業福祉センター内
TEL : 042-570-3481 FAX:042-570-3482